

XikeStor SKS8300-8X

ウェブ・ユーザー・マニュアル

L3 スイッチングハブ

ディレクトリ

スタート	1
ウェブベースのスイッチ設定	4
コンソールポートインターフェース	5
1. システム構成	6
1.1. システム・ホームページ	6
1.2. デバイス情報	6
1.3. IPコンフィグ	7
1.3.1. IPv4コンフィグ	7
1.3.2. IPv6コンフィグ	7
1.4. ウェブ設定	8
1.4.1. ウェブタイムアウト	8
1.4.2. HTTP	8
1.4.3. HTTPS	8
1.4.4. セキュリティIP	9
1.4.5. ACL	9
1.5. ユーザー管理	10
1.5.1. ユーザー管理	10
1.5.2. 認証方法	11
1.6. ファームウェアのアップグレード	12
1.6.1. TFTPサービス	12
1.6.2. FTPサービス	12
1.6.3. HTTPアップグレード	13
1.7. マネジメント・コンフィグ	13
1.7.1. TFTP	13
1.7.2. HTTP	13
1.8. NTP	14
1.8.1. NTP設定	14
1.8.2. NTP認証コンフィグ	14
1.9. SNTP	15
1.9.1. サーバー構成	15
1.9.2. タイムゾーン設定	15
1.10. デバイス管理	16
1.10.1. デバイスの再起動/リセット	16
1.10.2. システム利用	16
1.10.3. システム構成を見る	16
1.10.4. ログバッファの表示	17
1.10.5. ログフラッシュを見る	17
2. モニター管理	18
2.1. SSH設定	18
2.2. Telnet設定	18
2.3. 港湾統計	19
2.4. DDMIステータス	20

2.5. ピン	21
2.6. トレースルート	21
2.7. ケーブル診断	22
2.8. SNMPコンフィグ	23
2.8.1. グローバル設定	23
2.8.2. ユーザー設定	23
2.8.3. グループ構成	24
2.8.4. コミュニティ構成	25
2.8.5. トラップ設定	25
2.8.6. 構成を見る	26
2.8.7. セキュリティIPコンフィグ	26
2.8.8. SNMP統計	27
2.9. オンビフ設定	27
2.9.1. サーバー構成	27
2.9.2. ディテクト・コンフィグ	27
2.10. ループバック検出	28
2.10.1. ポートモード	28
2.10.2. VLANループバック	29
2.10.3. インターバル時間	29
2.10.4. 回復タイムアウト	30
2.11. LLDP コンフィグ	30
2.11.1. グローバル設定	30
2.11.2. ポート構成	31
2.11.3. TLVコンフィグ	32
2.11.4. 近隣情報	32
3. スイッチ構成	33
3.1. ポート構成	33
3.1.1. ポート構成	33
3.1.2. ポートコンボモード	34
3.1.3. ポート 10G モード(特定)	34
3.2. ポートミラー	35
3.3. ポート・アイソレート	36
3.4. ポートチャンネル	36
3.4.1. ポート・チャンネル・グループ	36
3.4.2. LACP	38
3.5. ジャンボフレーム	38
3.6. ポートレート	39
3.7. ストームコントロール	40
3.8. MACアドレス設定	41
3.8.1. スタティックMAC	41
3.8.2. ブラックホールMAC	41
3.8.3. エージング・タイム	42
3.8.4. MACアドレスリスト	43
3.9. 午前	43

3.10. AAA	44
3.10.1. 半径	44
3.10.2. ラディアス会計	45
3.10.3. タカックス	46
4. VLANコンフィグ	47
4.1. VLANコンフィグ	47
4.1.1. VLAN ID	47
4.1.2. VLANの表示	48
4.1.3. ポート構成	48
4.2. GVRPコンフィグ	49
4.2.1. GVRPコンフィグ	49
4.2.2. GVRPポート	49
4.3. クイック	50
4.3.1. Dot1qトンネルを有効にする	50
4.3.2. Dot1qトンネルTPID	50
4.4. プロトコルVLAN	51
4.5. 音声VLAN	51
4.5.1. VLANコンフィグ	51
4.5.2. ポート構成	52
4.6. MAC VLAN	53
4.6.1. VLANコンフィグ	53
4.6.2. VLANメンバー	53
4.6.3. ポート構成	54
5. DHCPコンフィグ	54
5.1. DHCPサーバー	54
5.1.1. グローバル設定	54
5.1.2. アドレスプールの作成	55
5.1.3. ダイナミック・プール	55
5.1.4. マニュアル・プール	57
5.1.5. デフォルトゲートウェイ	57
5.1.6. DNSサーバー	58
5.1.7. 除外住所	59
5.1.8. パケット統計	60
5.1.9. 顧客リスト	60
5.2. DHCPスヌーピング	60
5.2.1. グローバル設定	60
5.2.2. VLANコンフィグ	61
5.2.3. 静的ユーザーバインディング	62
5.2.4. ヘルパーサーバー設定	63
5.2.5. ポートバインディング	63
5.2.6. トラスト・ポート	65
5.3. DHCPリレー設定	65
5.3.1. DHCPリレー設定	65
6. ACLコンフィグ	66

6.1. タイムレンジ設定	66
6.2. IP ACL	67
6.2.1. IP標準ACL	67
6.2.2. IP拡張ACL	68
6.3. MAC ACL	69
6.3.1. MAC標準ACL	69
6.3.2. MAC拡張ACL	70
6.4. MAC-IP拡張ACL	71
6.5. ACLバインディング	73
6.5.1. バインディングポート	73
6.5.2. バインドVlan	73
7. リング・ネットワーク	74
7.1. スパニングツリー	74
7.1.1. グローバル・プロパティーズ	74
7.1.2. インスタンスマッピング	76
7.1.3. インスタンスのプロパティ	76
7.1.4. ポート構成	77
7.1.5. ポートインスタンス	78
7.1.6. ステータス	79
7.2. ERPS	79
7.2.1. ERPSリング構成	79
7.2.2. ERPSインスタンス構成	81
7.2.3. ERPSの統計を見る	82
8. ルート設定	84
8.1. スタティック・ルート	84
8.2. RIPルート	84
8.2.1. キーホルダー	84
8.2.2. 基本構成	85
8.2.3. ネットワーク構成	86
8.2.4. パッシブ・インターフェイス	87
8.2.5. ネイバー設定	88
8.2.6. インターフェイス設定	88
8.2.7. 再分配ルーター	89
8.2.8. RIP情報を見る	90
8.3. OSPFルート	90
8.3.1. 基本構成	90
8.3.2. ネットワーク構成	91
8.3.3. パッシブ・インターフェイス	91
8.3.4. エリア構成	91
8.3.5. インターフェイス設定	92
8.3.6. インターフェイス認証	95
8.3.7. デフォルトルート	95
8.3.8. 再分配ルーター	96
8.3.9. OSPF情報の表示	97

8.4. BGPルート	98
8.4.1. 基本構成.....	98
8.4.2. ネットワーク構成	99
8.4.3. アグリゲート住所	99
8.4.4. 再分配ルーター	100
8.4.5. ネイバー・コンフィグ	101
8.4.6. BGP関連設定.....	101
8.4.7. タイマー設定	103
8.4.8. BGP情報の表示	104
8.5. ルーティングテーブル	104
9. マルチキャスト管理	105
9.1. IGMPスヌーピング設定.....	105
9.1.1. 基本構成	105
9.1.2. 静的ルーターポート	106
9.1.3. VLANコンフィグ	106
9.1.4. クエリア設定	107
9.1.5. マルチキャストテーブル	108
9.2. MLDスヌーピング設定	109
9.2.1. 基本構成	109
9.2.2. スタティックルーターポート.....	109
9.2.3. VLANコンフィグ	110
9.2.4. クエリア設定	111
9.2.5. マルチキャストテーブル	112
10. QoSコンフィグ	112
10.1. ポート構成.....	112
10.1.1. トラスト・コンフィグ	112
10.1.2. 重量構成.....	113
10.1.3. CoS-To-IntP コンフィグ	116
10.1.4. DSCP-To-IntP コンフィギュレーション.....	116
10.1.5. ポリシー設定.....	117
10.2. クラスマップ設定	118
10.2.1. クラスマップ設定	118
10.2.2. クラスマップ・ルールの設定	118
10.3. ポリシーマップ設定	122
10.3.1. ポリシー名 コンフィグ	122
10.3.2. ポリシークラス設定.....	122
10.3.3. ポリシーマーク設定	123
10.3.4. ポリシー帯域幅.....	124
10.3.5. ポリシーVLAN	125

スタート

このセクションでは、ウェブベースのコンフィギュレーション・ユーティリティの紹介と、以下のトピックについて説明します：

- デバイスの電源オン
- ネットワークへの接続
- ウェブベースの設定ユーティリティの起動

● パワー

電源への接続



スイッチの修理や配線を行う前に、電源を切り、電源コードを抜いてください。



最初に電源を切らない限り、モジュールやケーブルを取り外さないでください。このデバイスは、タイププレートに概説されている電圧にのみ対応しています。スイッチ用に特別に指定されている以外の電源コンポーネントを使用しないでください。



設置やケーブル配線の前に、電源コードを外してください。

スイッチは、AC 100-240 V 50/60Hzの内蔵高性能電源から給電されます。ニュートラルコンセント付きの単相3線式電源、または多機能コンピュータ用プロフェッショナル電源に接続することをお勧めします。

スイッチの背面パネルにあるAC電源コネクタを付属の電源コードで外部電源に接続し、電源LEDが点灯していることを確認します。



リアビュー AC電源ソケット

● ネットワークへの接続

スイッチをネットワークに接続する：

1. イーサネットケーブルをコンピューターのイーサネットポートに接続する。
。
2. イーサネットケーブルのもう一方の端を、スイッチの番号付きイーサネットポートのいずれかに接続します。接続されたデバイスがアクティブであれば、ポートのLEDが点灯します。
3. スイッチに接続する各デバイスについて、ステップ1とステップ2を繰り返します。



ネットワーク機器の接続には、CAT-5E以上のケーブルの使用を強くお勧めします。ネットワーク機器を接続する際は、最大配線距離の100メートルを超えないようにしてください。接続されたデバイスやLANが動作するまで、最大1分かかることがあります。これは正常な動作です。

下図に示すように、標準の Cat 5/5e イーサネットケーブル（UTP/STP）を使用して、スイッチをエンドノードに接続します。

スイッチポートは、スイッチが接続されているデバイスの特性（MDI/MDI-X、速度、デュプレックス）に自動的に調整されます。

● ウェブベースの設定ユーティリティの起動

このセクションでは、ウェブベースのスイッチ設定ユーティリティの操作方を説明します。ポップアップブロックは必ず無効にしてください。

ブラウザの制限

- ・ 古いバージョンのInternet Explorerを使用している場合、IPv6アドレスを直接使用してデバイスにアクセスすることはできません。ただし、DNS（ドメイン名）を使用することはできます。

System) サーバーでIPv6アドレスを含むドメイン名を作成し、アドレスバーで

IPv6アドレスの代わりにそのドメイン名を使用する。

- 管理ステーションに複数のIPv6インターフェイスがある場合は、IPv6インターフェイスを使用してください。

からデバイスにアクセスするには、IPv6リンクのローカルアドレスの代わりにグローバルアドレスを使用します。

ブラウザ

コンフィギュレーション・ユーティリティの起動

ウェブベースの設定ユーティリティを開くには

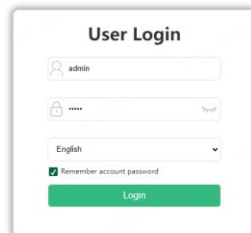
1. ウェブブラウザを開く。
2. ブラウザのアドレスバーに設定するデバイスのIPアドレスを入力し（工場出荷時のデフォルトIPアドレスは192.168.10.12）、Enterを押します。



デバイスが工場出荷時のデフォルト IP アドレスを使用している場合、電源 LED は連続的に点滅します。デバイスが DHCP で割り当てられた IP アドレスまたは管理者が設定した静的 IP アドレスを使用している場合、電源 LED は点灯します。コンピュータのIPアドレスは、スイッチと同じサブネット内にある必要があります。たとえば、スイッチが工場出荷時のデフォルト IP アドレスを使用している場合は

コンピュータのIPアドレスは以下の範囲になります：192.168.10.x（xは2から254までの数字）。

接続に成功すると、ログイン・ウィンドウが表示されます。

A screenshot of a 'User Login' form. It features a title 'User Login' at the top. Below the title are four input fields: a username field with 'admin' entered, a password field with masked characters '****', a language dropdown menu currently set to 'English', and a checkbox labeled 'Remember account password' which is checked. At the bottom of the form is a green 'Login' button.

ログイン画面

● ログイン

デフォルトのユーザー名はadmin、デフォルトのパスワードはadminです。デフォルトのユーザー名とパスワードで初めてログインするときは、新しいパスワードを入力する必要があります。

デバイス設定ユーティリティにログインするには

1. デフォルトのユーザーID（admin）とデフォルトのパスワード（admin）を入力する。
2. デフォルトのユーザーID（admin）とデフォルトのパスワード（admin）で初めてログインした場合は、すぐにパスワードを変更することをお勧めします。

ログインに成功すると、システム情報ウィンドウが表示されます。

- System Config
- System Homepage**
- Device Info
- IP Config
- Web Config
- User Management
- Firmware Upgrade
- Management Config
- NTP
- SNTP
- Device Management
- Monitor Management
- Switch Config
- VLAN Config
- POE Config
- DHCP Config
- ACL Config
- Ring Network



Collapse

Device Info			
Hostname	Switch	Device Type	Switch
CPU MAC Address	84-E5-D8-E0-2B-D4	VLAN MAC Address	84-E5-D8-E0-2B-D3
IP Address	192.168.2.1	Uptime	0d 00h 53min 55s
Serial Num	B0A513400002	Software Version	V2005P10230711
Current System Time	Tue Jul 11 00:53:14 2023	Firmware Compile Date	2023-07-11 11:37:20

Port	Admin Status	Port Status				Flow Control	MDI	PoE Config	
		Speed/Duplex		Monitor Status	Power(mW)				
		Config	Actual						
Ethernet1/0/1	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/2	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/3	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/4	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/5	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/6	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/7	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/8	Enabled	Auto/Auto	1000M/Full	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/9	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/10	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/11	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/12	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/13	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/14	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/15	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/16	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/17	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	Not Supported POE	Not Supported POE		
Ethernet1/0/18	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	Not Supported POE	Not Supported POE		
Ethernet1/0/19	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	Not Supported POE	Not Supported POE		
Ethernet1/0/20	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	Not Supported POE	Not Supported POE		

システム情報

間違ったユーザー名またはパスワードを入力した場合、エラーメッセージが表示され、ログインページがウィンドウに表示されたままになります。ログインに問題がある場合は、『管理者ガイド』の「設定ユーティリティの起動」セクションを参照してください。

● ログアウト

デフォルトでは、アプリケーションが10分間使用されないとログアウトします。

ログアウトするには、どのページでも右上の「ログアウト」をクリックします。デバイスからログアウトされます。

タイムアウトが発生した場合や意図的にログアウトした場合は、ログアウト状態を示すメッセージが表示され、ログインページが表示されます。ログイン後は初期画面に戻ります。

ウェブベースのスイッチ設定

スマート・スイッチ・ソフトウェアは、ネットワーク内のスイッチに豊富なレイヤ 2 機能を提供します。本章では、Web ベースの管理インタフェース（Web UI）を使用してスイッチの機能を設定する方法について説明します。

本マニュアルの目的上、ユーザー・インタフェースは下図のように4つのセクションに分かれている：

- System Config
- System Homepage**
- Device Info
- IP Config
- Web Config
- User Management
- Firmware Upgrade
- Management Config
- NTP
- SNTP
- Device Management
- Monitor Management
- Switch Config
- VLAN Config
- POE Config
- DHCP Config
- ACL Config
- Ring Network



Collapse

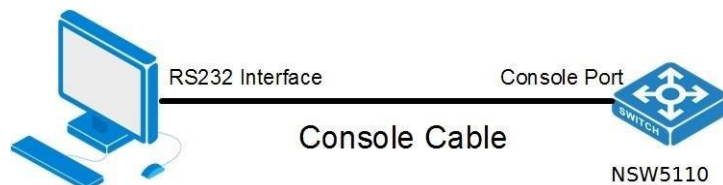
Device Info			
Hostname	Switch	Device Type	Switch
CPU MAC Address	84-E5-D8-E0-1F-5F	VLAN MAC Address	84-E5-D8-E0-1F-5E
IP Address	192.168.2.1	Uptime	0d 02h 48min 14s
Serial Num	PCMS28GF2110001E	Software Version	V300SP10230718
Current System Time	Tue Jul 18 02:48:07 2023	Firmware Compile Date	2023-07-18 15:01:02

Port	Admin Status	Port Status				Flow Control	MDI	PoE Config	
		Speed/Duplex		Link	Error			Power(mW)	Monitor Status
		Config	Actual						
Ethernet1/0/1	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/2	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/3	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/4	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/5	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/6	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/7	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/8	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/9	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/10	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/11	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/12	Enabled	Auto/Auto	1000M/Full	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/13	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/14	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/15	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/16	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/17	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/18	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/19	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		
Ethernet1/0/20	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled		

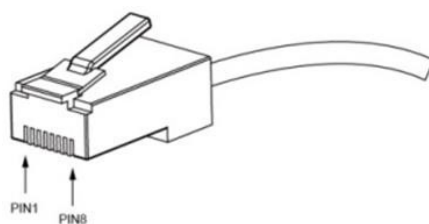
コンソールポート インターフェース

PoE のスマートなスイッチにモニター港（コンソールポート）があります。
率 9600bps、標準的な RJ45 プラグ。

専用のモニターケーブルを使って、以下のようにポートをPCのシリアルポート接続に導く：



コンソールポートで使用されるRJ45コネクタは下図のとおりで、RJ45プラグはRJ45ソケットに対応しており、左から1～8までの番号が付けられている。



このケーブルは、スイッチのコンソールポートと外部監視端末を接続するために使用されます。RJ45の8ピンプラグの一端は、もう一方の端は25穴プラグ（DB25）と9穴プラグ（DB9）、スイッチのコンソールポートソケットにRJ45ヘッドであり、DB25とDB9は、端末のシリアルポートの要件に応じて使用することができ、次のようにケーブルの内部接続図：

	RJ45	<====>	DB9
[RTS	1~~~8	CTS]
[DTR	2~~~6	DSR]
[TXD	3~~~2	RXD]
[GND	4~~~5	GND]
[GND	5~~~5	GND]
[RXD	6~~~3	TXD]
[DSR	7~~~4	DTR]
[CTS	8~~~7	RTS]

1. システム コンフィグ

1.1. システム ホームページ

システムのホームページには、デバイス情報とポートステータスが表示されます。

Device Info			
Hostname	Switch	Device Type	Switch
CPU MAC Address	84-E5-D8-E0-1F-5F	VLAN MAC Address	84-E5-D8-E0-1F-5E
IP Address	192.168.2.1	Uptime	0d 02h 48min 14s
Serial Num	PCMS328GF2110001E	Software Version	V300SP10230718
Current System Time	Tue Jul 18 02:48:07 2023	Firmware Compile Date	2023-07-18 10:01:02

Port Status				PoE Config			
Port	Admin Status	Speed/Duplex		Flow Control	MDI	Power(mW)	Monitor Status
		Config	Actual				
Ethernet1/0/1	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled
Ethernet1/0/2	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled
Ethernet1/0/3	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled
Ethernet1/0/4	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled
Ethernet1/0/5	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled
Ethernet1/0/6	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled
Ethernet1/0/7	Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto	0	Disabled

Device Info (デバイス情報) または **Port Status** (ポートステータス) をクリックすると、対応するページに入ります。

1.2. デバイス 情報

デバイス情報]ページでは、デバイス情報を表示したり、デバイスの[ホスト名]、[デバイスの連絡先]、[デバイスの場所]、[現在のシステム時間]を設定することができます。

Device Info	
Hostname	Switch
Device Contact	Default
Device Location	Default
Device Type	Switch
CPU MAC Address	84-E5-D8-E0-00-01
VLAN MAC Address	84-E5-D8-E0-00-00
IP Address	192.168.20.90
Client IP Address	192.168.20.121
Serial Num	UNPV102022010001
Software Version	V300SP10230911
BootRom Version	V2.00
Firmware Compile Date	2023-09-11 08:48:22
Uptime	0W 0D 00H:59M:31S
Current System Time	00 Hour 59 Min 23 Sec 2023 Year 09 Month 11 Day

		Apply
ホスト名		1-64文字
デバイスコンタクト		新しいスイッチのデバイスコンタクトを記入してください。 変更あり、0~255文字
デバイスの位置		新しい Device Locationには、以下のように入力します。 変更あり、0~255文字
現在システム時間	システム	現在のシステム時刻を手動で変更する。 スイッチの再起動は無効となる。

1.3. IP コンフィグ

1.3.1. IPv4コンフィグ

このページを使用して、VLAN インタフェースの IP アドレスとサブネットマスクを設定できます。

"IPv4Config" ページを 表示するには、"
System Config" -> "IP Config" -> "IPv4 Config" をクリ

IPv4 Config

VLAN Interface	VLAN0001	
IP Mode	Static IP	
IP Address		Example:10.10.10.1
Netmask		Example:255.255.255.0

<input type="checkbox"/>	VLAN Interface	IP Mode	IP Address	Netmask
<input checked="" type="checkbox"/>	VLAN0001	Static IP	192.168.2.1	255.255.255.0

VLAN インターフェース	レイヤー3 インターフェースの VLAN ID 作成
IP モード	静的 IP : ユーザー 自 己設定 動的 : dhcp-client 自動取得
IP アドレス	IP アドレス (例 : A.B.C.D)
ネットマスク	ネットマスク 例 : 255.255.255.0
オペレーション	アクション適用/削除

1.3.2. IPv6コンフィグ

このページを使用して、VLAN インタフェースの IPv6 アドレスとサブネットマスクを設定できます。

"IPv6Config" ページを 表示するには、"
System Config -> IP Config -> IPv6 Config" をクリック
し、"Apply" をクリックして設定します。

IPv6 Config

VLAN Interface	VLAN0001	
IPv6 Address		Example:2001::1234
Prefix-length		Example:48

Showing 10 Entries Showing 1 to 1 of 1 entries Search

<input type="checkbox"/>	No.	VLAN Interface	IPv6 Address
<input checked="" type="checkbox"/>	1	VLAN0001	fe80::86e5:d8ff:fee0:115e/64

VLANインターフェース	レイヤー3インターフェースの VLAN ID 作成
IPv6アドレス	IPv6アドレス、例：2001::1234
プレフィックス長	プレフィックス 長さ は 3 から 127, 例：48
オペレーション	アクション適用/削除

1.4. Web コンフィグ

1.4.1. ウェブタイムアウト

このページを使用して、Web ログインタイムアウト時間を設定できます。

Login Timeout

Login Timeout	10	(1-60 minutes)
<input type="button" value="Apply"/>		

ウェブログインタイムアウト	ウェブ ログイン タイムアウト: 1-60 分、デフォルト10分
---------------	-------------------------------------

1.4.2. HTTP

HTTP サーバー設定モジュール、ユーザーはこのモジュールを再度使用して、スイッチの HTTP サービスを開始または停止することができます。

HTTP Server Config

	HTTP Server Status <input checked="" type="radio"/>
--	-----------------------------------------------------

1.4.3. HTTPS

HTTPS サーバー設定モジュール、ユーザーはこのモジュールを再度使用して、スイッチの HTTPS サービスを開始または停止することができます。

HTTPS Config

HTTPS Status <input type="radio"/>	
HTTPS Config	
HTTPS Status	<input checked="" type="radio"/>
HTTPS Protocol Port	443
(1025-65535,default 443)	
Encryption Type	<input checked="" type="radio"/> aes256-sha <input type="radio"/> ecdhe-rsa-aes256-sha
<input type="button" value="Apply"/>	

HTTPSプロトコル・ポート	HTTPS プロトコル ポート 1025-65535 ,デフォルト443
----------------	-----------------------------------------

暗号化タイプ	タイプ aes256-sha エクスデRSA-AES256-SHA
--------	-----------------------------------------

1.4.4. セキュリティIP

ログイン・ユーザー・セキュリティIPコンフィギュレーション・モジュールでは、ユーザーがログイン・スイッチのセキュリティIPv4アドレスを設定できます。ログイン方法にはTelnet/HTTP/HTTPSがあります。

Login user Security IP Set

To configure the trusted IP address for Telnet and HTTP/HTTPS login method

Security IP Address	<input type="text" value="Example:10.10.10.1"/>	
<input type="button" value="Apply"/>		

<input type="checkbox"/>	No.	Login user Security IPv4 List	
<input type="button" value="Delete"/>			

セキュリティ IP 住所	指定されたセキュリティIPv4アドレスを入力する。		
オペレーション	応募する	住所またはリスト番号の追加	
	削除	アドレスまたはリスト番号の削除	

1.4.5. ACL

ログインユーザーのログインアクセスコントロールリストモジュールで、IPV4アクセスコントロールリストを設定できます。ログイン方法にはTelnet/SSH/Webがあります。

Login Access Control List Set

Configure standard IP ACL protocol binding through Telnet/SSH/Web login

Access Control List	<input type="text" value="(1-64 string or number 1-299)"/>	
Binding Method	<input type="text" value="web"/>	
<input type="button" value="Apply"/>		

	Access Control List	Binding Method	
<input type="button" value="Delete"/>			

IPv4 アクセス	アクセ	スタンダード アクセス リ という数 範囲 1-64 コントロール ス 字になる ト 、
コントロールリス	ト	文字または1~99の数字
製本方法		バインディング・メソッドはweb/ssh/telnet/allを含む
オペレーション	応募する	住所またはリスト番号の追加
	削除	アドレスまたはリスト番号の削除

1.5. ユーザー 管理

1.5.1. ユーザー管理

User Management

Username	<input type="text"/>	1-32 characters
Password	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/> Encrypted Text 1-32 characters
Priority	<input type="text"/>	(number 1-15)

<input type="checkbox"/>	No.	Username	Password	State	Priority
<input checked="" type="checkbox"/>	1	admin	admin	Plain Text	15

ユーザー管理モジュールでは、ユーザーはユーザー操作を追加または削除することができます。

ユーザー名	操作するユーザー名,1-32文字
パスワード	ユーザー パスワード を選択します。 を選択します。 パスワード 暗号化 それ以外の場合、1~32文字の暗号化は不可
優先順位	権限レベルの指定に使用します。

WEB Privilege Configモジュールは、ユーザーがウェブにログインするためのユーザーアカウントの権限を設定することができます。

WEB Privilege Config

Login Privilege Enable	Disabled	▼
Privilege Priority	15	▼

ログイン権限有効	ユーザーの優先順位が権限の優先順位よりも低い場合、ログインできない状態から、ウェブページにはログインできるが、情報の設定はできず、以下のページしか閲覧できない状態に変更されます。 コンフィギュレーションを使用する。デフォルトは無効。
特権の優先順位	パーミッションレベルを指定するために使用される。デフォルトはレベル15で、以下のパーミッションレベルを持つユーザーのみが使用できる。 スイッチにウェブからログインできる。

1.5.2. 認証方法

User Login Authentication Method Configure モジュールでは、ログイン時に使用するコンソール.vty.web 認証方法を設定することができます。ユーザーが認証方式をパスした場合、下位のプリファレンスの認証方式は無視されます。RADIUS 認証を使用する前に、AAA 機能と RADIUS サーバを設定する必要があります。ローカルユーザを設定せずにローカル認証を設定した場合、ユーザはコンソール方式でスイッチにログオンできます。

User Login Authentication Method Configure

Login Method	Console	▼
Authentication Method1	None	▼
Authentication Method2	None	▼
Authentication Method3	None	▼
Operation Type	Configuration	▼

Login Method	Authentication Method1	Authentication Method2	Authentication Method3
console	local	None	None
vty	local	None	None
web	local	None	None

ログイン方法	認証方法	コンソール、vty、ウェブ。
コンソール	ローカル	認証を使用を使用したローカルユーザーアカウントデータベース
ブティ	半径	リモートRadiusサーバーを使用した認証
ウェブ	タックス	リモートのTacasサーバーを使った認証
デフォルト	デフォルトのコンソール認証なし、vtyとウェブローカル認証	

コンソール認証モードが「none」の場合のみ、ログイン認証モードを設定できる。

Login Authentication	Disabled	▼
Login Authentication Password	<input type="password"/>	<input type="checkbox"/> Encrypted Text 1-32 characters

ログイン認証	デフォルトは無効。
ログイン認証パスワード	ログイン認証パスワードは、パスワードの暗号化を選択し、それ以外の場合は1~32文字の暗号化なし

1.6. ファームウェア アップグレード

1.6.1. TFTPサービス

TFTPクライアントサービスモジュールにより、ユーザーはTFTP方式でファイルをアップロードまたはダウンロードすることができ、この方式でスイッチのファームウェアをアップグレードすることができます。

TFTP Service

Server IP Address	<input type="text"/>	Example:10.10.10.1
Server File Name	<input type="text"/>	1-100 characters, Example: nos.img
Operation Type	Upload ▼	
Transmission Type	binary ▼	

サーバーIPアドレス	TFTP アドレス IP ピアサーバー、ポイント 10 進数	
サーバー ファイル名	アップロードまたはダウンロードするソース名,1-100文字	
操作タイプ	アップロード	アップグレード・ファイルをスイッチからTFTPサーバー
	ダウンロード	TFTPサーバーからアップグレードファイルをダウンロードしてスイッチ
トランスミッション・タイプ	バイナリ	ファイルをバイナリ形式で転送（デフォルト）
	アスキー	ascii形式のファイル転送

1.6.2. FTPサービス

FTPクライアントサービスモジュールにより、ユーザーはFTP方式でファイルをアップロードまたはダウンロードすることができ、この方式でスイッチのファームウェアをアップグレードすることができます。

FTP Service

Server IP Address	<input type="text"/>	Example:10.10.10.1
Username	<input type="text"/>	1-100 characters
Password	<input type="text"/>	1-100 characters
Server File Name	<input type="text"/>	1-100 characters, Example: nos.img
Operation Type	Upload ▼	
Transmission Type	binary ▼	

サーバーIPアドレス	FTPアドレス IPピアサーバー、10進数ポイント	
ユーザー名	FTPサーバー間ユーザー名,1-100文字	
パスワード	FTPサーバー側のユーザーパスワード 1-100文字	
サーバーファイル名	アップロードまたはダウンロードするソース名,1-100文字	
オペレーション・タイプ	アップロード	アップグレード・ファイルをスイッチからTFTPサーバー

	ダウンロード	TFTPサーバーからアップグレードファイルをダウンロードして スイッチ
トランスミッション・ タイプ	バイナリ	ファイルをバイナリ形式で転送（デフォルト）
	アスキー	ascii形式のファイル転送

1.6.3. HTTPアップグレード

HTTPアップグレードモジュールは、ユーザーがHTTPの方法でファイルを選択することができ、この方法でスイッチのファームウェアをアップグレードするこ

Local Upgrade

Select File

Decompress the package and select the img file for upgrade.

とができます。

1.7. マネジメント コンフィグ

1.7.1. TFTP

TFTP モジュールを使用すると、ユーザーは tftp によってスイッチ・コンフィギュレーションをインポートまたはエクスポートできます。

Import Configuration

Server IP Address	<input type="text"/>	Example:10.10.10.1
Server File Name	<input type="text"/>	1-100 characters, Example: startup.cfg
Transmission Type	binary	

Apply

Export Configuration

Server IP Address	<input type="text"/>	Example:10.10.10.1
Server File Name	<input type="text"/>	1-100 characters, Example: startup.cfg

Apply

サーバーIPアドレス	TFTP アドレス IP ピアサーバー、ポイント 10 進数	
サーバーファイル名	アップロードまたはダウンロードするソース名,1-100文字	
トランスミッション・タイプ	バイナリ	ファイルをバイナリ形式で転送 (デフォルト)
	アスキー	ascii形式のファイル転送

1.7.2. HTTP

HTTPモジュールは、ユーザーがhttpでスイッチの**実行コンフィギュレーション**または**スタートアップコンフィギュレーション**をダウンロードまたはアップロードするこ

HTTP Upload or Download File

Operation Type	Download
File Type	Running Configuration

Apply

とができます。

オペレーション・タイプ	ダウンロード	ファイルをダウンロードするには
	アップロード	ファイルをアップロードするには
ファイルの種類	ランニング・コンフィギ	スイッチ・ランニング・コンフィ

	ユレーション	グレーション
	スタートアップ設定	スイッチのスタートアップ・コンフィグレーション

1.8. エヌティーピー

1.8.1. NTPコンフィグ

NTP コンフィグモジュールは、ユーザーが NTP サービスのグローバルスイッチ

NTP Global Config

NTP Global Config Off

NTP グローバル コンフィグ操作	コ	オフ	クローズ操作（デフォルト）
	ク	オン	スタート

NTP サーバー設定モジュールは、ユーザーがこのモジュールでスイッチのタイムソースの指定されたタイムサーバーを設定できます。

NTP Server Config

Server Address	<input type="text"/>	IP address type,for example:10.10.10.1
Version	<input type="text"/>	Version Range:1-4
Key ID	<input type="text"/>	Key ID Range:1-4294967295

Showing 10 Entries Showing 1 to 1 of 1 entries Search

No.	Server Address	Version	Key ID
1	162.159.200.123	4	0

サーバーアドレス	指定されたタイムサーバアドレスの小数点	
バージョン	バージョン番号、範囲1~4、デフォルト4	
キーID	秘密鍵の値、範囲1-4294967295	
オペレーション	応募する	操作の追加
	削除	削除操作

1.8.2. NTP認証コンフィグ

NTP 検証設定モジュールでは、スイッチの NTP 認証関連項目を設定できます。

NTP Authentication Config

NTP Authentication Function	Disabled	
Key ID	<input type="text"/>	Key ID Range:1-4294967295
MD5 For Key ID	<input type="text"/>	1-16 Characters ASCII

Showing 10 Entries Showing 0 to 0 of 0 entries Search

No.	Key ID	MD5 For Key ID
0 results found.		

エヌティーピー 認証する スイッチ	無効	NTP検証を閉じる（デフォルト）
	有効にする	NTP検証を有効にする
キーID	秘密鍵の値、範囲1-4294967295	
MD5 キーID用	秘密鍵のMD5値。 アスキーコードの	
オペレーション	応募する	操作の追加
	削除	削除操作

1.9. SNTP

1.9.1. サーバー構成

SNTPサーバー設定モジュールでは、指定したタイムサーバーをクロックソースとして追加または削除できます。

SNTP Server Config

Server Address	<input type="text"/>	IP address type, for example: 10.10.10.1
Version	<input type="text"/>	Version Range: 1-4
<input type="button" value="Apply"/>		

<input type="checkbox"/>	No.	Server Address	Version	State
<input type="button" value="Delete"/>				

サーバーアドレス	指定されたタイムサーバアドレスの小数点	
バージョン	バージョン番号、範囲1～4、デフォルト4	
オペレーション	応募する	操作の追加
	削除	削除操作

1.9.2. タイムゾーン設定

SNTPタイムゾーンとUTC時差設定モジュールは、クライアントが配置されている場所で、ユーザーはスイッチの現在のタイムゾーンを設定し、その名

Time Zone Config

Time Zone	<input type="text" value="UTC"/>	(1-16 character)
Time Difference	<input checked="" type="radio"/> After-utc <input type="radio"/> Before-utc	
Time Value	<input type="text" value="00"/>	<input type="text" value="00"/> Range: 0-23, 0-59
Operation Type	Add	
<input type="button" value="Apply"/>		

前を付けることができます。

タイムゾーン	タイムゾーン名, 1-16文字	
時差	アフター UTC	時間帯別動作の増加
	使用前	時間帯別動作の削減
時間価値	タイムゾーンの変更 時間 0～23	タイムゾーンの変更 分値 0-59

オペレーション	追加	操作の追加
	デフォルト	タイムゾーンのデフォルト設定に戻す

1.10.4. ログバッファの表示

このモジュールは、現在のシステム・ランにおけるシステム・ロギング情報を表示するために使用される。

```
System Buffer Log

Current messages in SDRAM:17
8 %Sep 21 00:02:00.120 2023 <critical> DEFAULT[zlMI]:System warm restart...
1 %Sep 21 00:00:00.000 2023 <critical> DEFAULT[tUsrRoot]:Switch is start, software version is V300SP10230921
```

1.10.5. ログフラッシュを見る

このモジュールは、現在のシステム・ランにおけるシステム・フラッシュ・ログ情報を表示するために使用される。

```
System Flash Log

Allowed max messages:655,Current messages:31
31 %May 22 00:02:07 2023 <critical> DEFAULT[zlMI]:System cold restart...
30 %May 22 00:00:00 2023 <critical> DEFAULT[tUsrRoot]:Switch is start, software version is V200SP10230522
29 %May 22 00:02:07 2023 <critical> DEFAULT[zlMI]:System cold restart...
28 %May 22 00:00:00 2023 <critical> DEFAULT[tUsrRoot]:Switch is start, software version is V200SP10230522
27 %May 22 00:01:56 2023 <critical> DEFAULT[zlMI]:System warm restart...
26 %May 22 00:00:00 2023 <critical> DEFAULT[tUsrRoot]:Switch is start, software version is V200SP10230522
25 %May 22 08:13:26 2023 <critical> DEFAULT[zlMI]:System will be rebooted, reason: reload by CLI
24 %May 22 00:05:07 2023 <critical> MODULE_UTILS_FILESYSTEM[zlMI]:fs_write_file 1728: FS_DEV_UNLOCK Slot: 1 dev_name:flash: file_name:flash/startup.cfg
23 %May 22 00:05:07 2023 <critical> MODULE_UTILS_FILESYSTEM[zlMI]:fs_write_file 1710: FS_DEV_LOCK_NO_WAIT Slot: 1 dev_name:flash: file_name:flash/startup.cfg
22 %May 22 00:02:07 2023 <critical> DEFAULT[zlMI]:System cold restart...
21 %May 22 00:00:00 2023 <critical> DEFAULT[tUsrRoot]:Switch is start, software version is V200SP10230522
20 %May 22 00:02:08 2023 <critical> DEFAULT[zlMI]:System cold restart...
19 %May 22 00:00:00 2023 <critical> DEFAULT[tUsrRoot]:Switch is start, software version is V200SP10230522
18 %May 22 00:01:53 2023 <critical> DEFAULT[zlMI]:System warm restart...
17 %May 22 00:00:00 2023 <critical> DEFAULT[tUsrRoot]:Switch is start, software version is V200SP10230522
16 %May 19 00:04:52 2023 <critical> DEFAULT[tWebCfg]:Write file nos.img OK
15 %May 19 00:04:52 2023 <critical> MODULE_UTILS_FILESYSTEM[tWebCfg]:fs_write_file 1728: FS_DEV_UNLOCK Slot: 1 dev_name:flash: file_name:flash/nos.img
14 %May 19 00:04:04 2023 <critical> MODULE_UTILS_FILESYSTEM[tWebCfg]:fs_write_file 1710: FS_DEV_LOCK_NO_WAIT Slot: 1 dev_name:flash: file_name:flash/nos.img
13 %May 19 00:04:04 2023 <critical> DEFAULT[tWebCfg]:Begin to write file nos.img.
12 %May 19 00:01:55 2023 <critical> DEFAULT[zlMI]:System warm restart...
11 %May 19 00:00:00 2023 <critical> DEFAULT[tUsrRoot]:Switch is start, software version is V200SP10230519
10 %May 19 00:04:02 2023 <critical> DEFAULT[zlMI]:System will be rebooted, reason: reload by CLI
9 %May 19 00:01:22 2023 <critical> DEFAULT[zlMI]:System warm restart...
8 %May 19 00:00:00 2023 <critical> DEFAULT[tUsrRoot]:Switch is start, software version is V200SP10230519
7 %May 19 00:02:29 2023 <critical> DEFAULT[zlMI]:System will be rebooted, reason: reload by CLI
6 %May 19 00:01:22 2023 <critical> DEFAULT[zlMI]:System warm restart...
```


2. モニター 管理

2.1. SSH 設定

SSH Configモジュールは、ユーザーがSSHステータスとSSHタイムアウトを設定することができます。

The screenshot shows two configuration panels. The first panel, titled "SSH Config", has a toggle switch for "Enabled" which is currently set to "Off". The second panel, titled "SSH Server Configuration", contains two input fields: "Timeout Time" with a value of 180 and a range of (10-600s, Default:180s), and "Maximum Connection" with a value of 5 and a range of (1-16, Default:5). An "Apply" button is located below these fields.

有効 オペレーション	オフ：クローズ操作（デフォルト） オン：スタート
タイムアウト 時間	SSHログイン状態終了のタイムアウト,10-600秒(デフォルト180秒) s)
最大 接続	SSHでログインできる最大接続数（範囲 1-16(デフォルト5)
オペレーション	応募する 操作の追加

2.2. Telnet コンフィグ

Telnetサーバステータスモジュール。ユーザーがTelnetでログインスイッチのオン・オフを有効にできる。

The screenshot shows the "Telnet Server State" configuration panel with a toggle switch for "Enabled" which is currently set to "On".

Telnetは最大数モジュールを接続し、ユーザーはTelnetでスイッチへの最大接続数を設定することができます。

The screenshot shows the "Maximum Connection" configuration panel with an input field for "Telnet Connection Number" set to 5, with a range of (1-16, Default:5). An "Apply" button is located below the field.

Telnetアクセス 番号	Telnetでログインできる最大接続数、範囲1-16(デフォルト5)	
オペレーション	応募する	操作の追加

2.3. ポート 統計

このページはポート統計情報を表示します。

Port Statistics																				
PORT	Link Status	Rate(Bps) (R/T)	Rate(pps) (R/T)	unicast packets (R/T)	multicast packets (R/T)	broadcast packets (R/T)	input errors	output errors	CRC (R)	frame alignment (R)	overrun (R)	ignored (R)	abort (R)	length error (R)	undersize (R)	jabber (R)	fragments (R)	collisions (T)	late collisio (T)	
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/1	Disconnect	0/0	0/0	0.0/0.0	0.0/0.0	0.0/0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/2	Connected	0/1884	0/2	148.0/367.0	2.0/194678.0	0.0/16824.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/3	Disconnect	0/0	0/0	0.0/0.0	0.0/0.0	0.0/0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/4	Disconnect	0/0	0/0	0.0/0.0	0.0/0.0	0.0/0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/5	Disconnect	0/0	0/0	0.0/0.0	0.0/0.0	0.0/0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/6	Disconnect	0/0	0/0	0.0/0.0	0.0/0.0	0.0/0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/7	Disconnect	0/0	0/0	0.0/0.0	0.0/0.0	0.0/0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/8	Disconnect	941/91	1/0	0.0/0.0	172.0/29.0	88.0/0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/9	Disconnect	0/0	0/0	0.0/0.0	0.0/0.0	0.0/0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/10	Connected	528/204	1/0	5661.0/7712.0	5416.0/58820.0	8814.0/0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/11	Disconnect	0/0	0/0	0.0/0.0	0.0/0.0	0.0/0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/12	Disconnect	0/0	0/0	0.0/0.0	167.0/11.0	80.0/0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/13	Disconnect	0/0	0/0	0.0/0.0	0.0/0.0	0.0/0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/14	Disconnect	0/0	0/0	48061.0/55055.0	3887.0/57351.0	7883.0/3.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/15	Disconnect	0/0	0/0	0.0/0.0	0.0/0.0	0.0/0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/16	Disconnect	0/0	0/0	0.0/0.0	0.0/0.0	0.0/0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/17	Connected	1555/1592	2/2	115164.0/117485.0	116460.0/114824.0	350.0/5272.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/18	Connected	846/1024	1/1	300.0/222.0	115873.0/112437.0	4.0/1380.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/19	Connected	824/890	1/1	2225.0/217.0	116522.0/116130.0	34.0/10116.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/20	Disconnect	0/0	0/0	41.0/77.0	38934.0/37839.0	0.0/57.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/21	Disconnect	0/0	0/0	0.0/0.0	0.0/0.0	0.0/0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/22	Disconnect	0/0	0/0	0.0/0.0	0.0/0.0	0.0/0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/23	Disconnect	0/0	0/0	0.0/0.0	0.0/0.0	0.0/0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/24	Connected	28/495	0/1	3204.0/3408.0	62.0/33362.0	125.0/65.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/25	Disconnect	0/0	0/0	0.0/0.0	0.0/0.0	0.0/0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/26	Disconnect	0/0	0/0	0.0/0.0	0.0/0.0	0.0/0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/27	Disconnect	0/0	0/0	0.0/0.0	0.0/0.0	0.0/0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/28	Disconnect	0/0	0/0	0.0/0.0	0.0/0.0	0.0/0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	Port-Channel1	Connected	3225/3506	4/5	235460.0/236002.0	775578.0/762460.0	776.0/33650.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/>	Port-Channel2	Connected	528/204	1/0	5661.0/7712.0	5416.0/58820.0	8814.0/0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

Refresh

Delete

ポート	物理ポート
リンク状況	リンク状況接続済み 切断
レート (bps) (R/T)	レート (bps) : 受信/送信 ;
レート (pps) (R/T)	レート (pps) : 受信/送信 ;
ユニキャストパケット (R/T)	ユニキャストパケット : 受信/送信 ;
マルチキャストパケット (R/T)	マルチキャストパケット : 受信/送信 ;
ブローキャストパケット (R/T)	ブローキャストパケット : 受信/送信 ;
入力エラー	入力ミス
出力エラー	出力エラー
CRC(R)	CRC(巡回冗長検査) 受け取った ;
フレームアライメント (R)	フレームアライメント 受け取った ;
オーバーラン	オーバーラン 受け取った ;

無視 (R)	無視される 受け取った；
アボート	中止 受け取った；
長さ誤差 (R)	長さの誤差 受け取った；
アンダーサイズ	アンダーサイズ 受け取った；
じょうご	ジャババー 受け取った；
フラグメント (R)	断片 受け取った；
衝突 (T)	衝突 送信する；
後期衝突(T)	遅い衝突 送信する；
ポーズフレーム (R/T)	一時停止フレーム 受信/送信；
リフレッシュ	ポート統計情報の更新
削除	ポートを選択し、削除をクリックします。 ポート統計をクリアする

2.4.DDMI ステータス

このページは、ファイバーモジュール情報を表示します。

Fiber Module Table

Port	Vendor Name	Part Number	TX Power (dBm)	RX Power (dBm)	Temperature (°C)	Voltage (V)	Bias (mA)
Ethernet1/0/25	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Ethernet1/0/26	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Ethernet1/0/27	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Ethernet1/0/28	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A

Refresh

Fiber Module Table

Port	Vendor Name	Part Number	TX Power (dBm)	RX Power (dBm)	Temperature (°C)	Voltage (V)	Bias (mA)
Ethernet1/0/25	OEM	SFP-1.25G-BX10U	-6.05	-40.00(A-)	7	3.31	19.46
Ethernet1/0/26	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Ethernet1/0/27	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Ethernet1/0/28	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A

Refresh

ポート	ファイバーポート
温度 (°C)	の温度を表示する。 ファイバーモジュール
バイアス (mA)	ファイバーのバイアスを表示する モジュールである。
RXパワー (dBm)	ファイバーのRXパワーを表示する モジュールである。
TXパワー (dBm)	ファイバーのTXパワーを表示する モジュールである。

2.5. ピン

ユーザーはpingコマンドを実行できる。

Ping

Server address

Apply

Ping Result

2.6. トレースルート

ユーザーはルート追跡コマンドを実行できる。

Traceroute

Server address

Traceroute Result

2.7. ケーブル 診断

この章は、ポートのリンクラインを検出するために使用できる。
 ケーブル診断」 ページを表示するには、モニタ 管理
 ->Cable Diagnostics, click "Apply" to configure.

Cable Diagnostics

<input type="checkbox"/>	Port	Test Result	Description	Cable Length(meters)
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/1	-	-	-
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/2	-	-	-
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/3	-	-	-
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/4	-	-	-
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/5	-	-	-
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/6	-	-	-
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/7	-	-	-
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/8	-	-	-
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/9	-	-	-
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/10	-	-	-
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/11	-	-	-
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/12	-	-	-
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/13	-	-	-
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/14	-	-	-
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/15	-	-	-
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/16	-	-	-
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/17	-	-	-
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/18	-	-	-
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/19	-	-	-
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/20	-	-	-
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/21	-	-	-
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/22	-	-	-
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/23	-	-	-
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/24	-	-	-

Cable Diagnostics

<input type="checkbox"/>	Port	Test Result	Description	Cable Length(meters)
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/1	Disconnect	Please check whether the network cable is connectedAbnormal	(1, 2) 1 (3, 6) 1 (4, 5) 2 (7, 8) 1
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/2	Normal	Normal(Correctly terminated pair)	(1, 2) 1 (3, 6) 1 (4, 5) 1 (7, 8) 1
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/3	Disconnect	Please check whether the network cable is connected(Open pair,no link partner)	(1, 2) 2 (3, 6) 2 (4, 5) 1 (7, 8) 2
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/4	Disconnect	Please check whether the network cable is connected(Open pair,no link partner)	(1, 2) 2 (3, 6) 2 (4, 5) 2 (7, 8) 1
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/5	Disconnect	Please check whether the network cable is connected(Open pair,no link partner)	(1, 2) 2 (3, 6) 2 (4, 5) 2 (7, 8) 1
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/6	Disconnect	Please check whether the network cable is connected(Open pair,no link partner)	(1, 2) 2 (3, 6) 2 (4, 5) 2 (7, 8) 1
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/7	Disconnect	Please check whether the network cable is connected(Open pair,no link partner)	(1, 2) 1 (3, 6) 1 (4, 5) 2 (7, 8) 2
<input type="checkbox"/>	Ethernet1/0/8	Disconnect	Please check whether the network cable is connected(Open pair,no link partner)	(1, 2) 2 (3, 6) 1 (4, 5) 2 (7, 8) 2

2.8. SNMP コンフィグ

2.8.1. グローバル設定

SNMPネットワーク管理機能スイッチモジュールは、ユーザーがSNMP機能を有効または無効にすることができます。SNMPエージェントの状態とトラップの状態のデフォルトは無効です。セキュリティIPの状態

SNMP Management

Agent State	Disabled	▼
RMON	Disabled	▼
Trap	Disabled	▼
Security IP	Disabled	▼

[Save](#)

2.8.2. ユーザー設定

SNMPユーザー管理モジュールは、ユーザーがこのモジュールでSNMPユーザーの操作を追加または削除することができます。

Users

Username	<input type="text"/>	(1-32 characters)
Group Name	<input type="text"/>	(1-32 characters)
Security Level	noAuthNoPriv	▼
IPv4 Access Control List	<input type="text"/>	(1-64 characters)
IPv6 Access Control List	<input type="text"/>	(1-64 characters)

[Apply](#)

User Configuration Status Table

Showing 10 Entries Showing 0 to 0 of 0 entries Search

<input type="checkbox"/>	Username	Group Name	Security Level	Authentication Protocol	Privacy Protocol	IPv4 Access Control List	IPv6 Access Control List
0 results found.							

[Delete](#) [First](#) [Previous](#) [Next](#) [Last](#)

ユーザー名	操作するユーザー名,1-32文字	
グループ名	参加するユーザーグループ,1-32文字	
セキュリティレベル	noAuthNoPriv	非認証非暗号化レベル
	authNoPriv	認証レベルはあるが暗号化レベルはない
	オートプリブ	認証と暗号化レベル
認証 プロトコルを使用 する:	MD5	認証用HMAC MD5アルゴリズム
	シャ	認証にはHMAC SHAアルゴリズムを使用
認証 のパスワードが必 要だ:	認証用パスワード	
プライバシー・プ ロトコル:	DES	暗号化 DESアルゴリズム
	AES	暗号化 AESアルゴリズム
	スリーディーエ ス	3DESアルゴリズムによる暗号化
プライバシー のパスワードが必 要だ:	暗号化用パスワード	
IPv4アクセス コントロールリス ト	標準IPv4アクセス制御リスト番号、範囲1~64 文字	
IPv6アクセス コントロールリス ト	標準IPv6アクセス制御リスト番号、範囲1~64 文字	

2.8.3. グループ構成

SNMPグループ管理モジュールで、ユーザーはSNMPグループ操作の追加や削除を行うことができる。

Groups

Group Name	<input type="text"/>	(1-32 characters)
Security Level	noAuthNoPriv	
Read SNMP View	<input type="text"/>	(1-32 characters)
Write SNMP View	<input type="text"/>	(1-32 characters)
Notify SNMP View	<input type="text"/>	(1-32 characters)

Snm Group Table

Showing 10 Entries Showing 0 to 0 of 0 entries Search

<input type="checkbox"/>	Group Name	Security Level	SNMP View	SNMP View	SNMP View
0 results found.					

グループ名	操作するユーザーグループ名,1-32文字	
セキュリティレベ ル	noAuthNoPriv	非認証非暗号化レベル
	authNoPriv	認証レベルはあるが暗号化レベルはない
	オートプリブ	認証と暗号化レベル
SNMPビューを読む	読みやすいビューの名前 (1~32文字を含む)	

SNMPビューを書き込む	書き込み可能なビューの名前（1～32文字を含む）	
SNMPビューの通知	1-32文字を含むビューの名前に注目	
オペレーション	応募する	SNMPグループの追加
	削除	SNMPグループの削除

2.8.4. コミュニティ構成

ユーザーがSNMPコミュニティ管理を設定できるコミュニティ管理モジュール。

Community Managers

Community Name	<input type="text" value=""/>	(1-255 characters)
Access Priority	Readonly	▼

Community Managers Status Table

<input type="checkbox"/>	Community Name	Access Priority
--------------------------	----------------	-----------------

コミュニティ名	コミュニティ文字列名,1-255文字	
アクセス優先	読むだけ	読み取り専用パーミッションレベル
	読み書き可能	読み書き許可レベル
オペレーション	追加	コミュニティ文字列の追加操作
	削除	コミュニティ文字列の削除操作

2.8.5. トラップ設定

トラップ管理設定を行うトラップコンフィグ。

TRAP Manager Config

TRAP Receiver	<input type="text" value=""/>	Example:1.1.1.5
Version	V1	▼
Community Name	<input type="text" value=""/>	▼

TRAP Manager Status Table

<input type="checkbox"/>	TRAP Receiver	Community Config	Version	Security Level	User Config
--------------------------	---------------	------------------	---------	----------------	-------------

トラップ受信機	トラップ情報の受信者IPv4/IPv6アドレス	
コミュニティ名	コミュニティ文字列名、V1/V2バージョン：1~255文字、V3バージョン：1~24文字	
バージョン	3つのバージョン：V1/V2C/V3	
セキュリティ・レベル (V3バージョンサポートのみ)	noAuthNoPriv	非認証非暗号化レベル
	authNoPriv	認証レベルはあるが暗号化レベルはない
	オートプリブ	認証と暗号化レベル
オペレーション	追加	トラップ インフォメー レシーバー 追加 トラ ション 操作
	削除	トラップ インフォメー レシーバー取り外 用 ション し

		操作
--	--	----

2.8.6. 設定を見る

SNMPビュー管理モジュール。ユーザーがSNMPビュー操作を追加または削除できる。

Views

SNMP View	<input type="text" value=""/>	(1-32 characters)
OID	<input type="text" value=""/>	Example:1.3.6.1.2.1.1.1
Type	Include	

View Table

Showing Entries Showing 1 to 3 of 3 entries

	SNMP View	OID	Type
<input type="checkbox"/>	v1defaultviewname	1.0.	Include
<input type="checkbox"/>	v1defaultviewname	1.2.	Include
<input type="checkbox"/>	v1defaultviewname	1.3.	Include

SNMPビュー	操作するユーザービュー名、1~32文字	
オーアイディー	操作するOID番号、10進数	
タイプ	含む	このOIDを含める
	除外	このOIDを除外する
オペレーション	応募する	ビューを追加
	削除	ビューを削除

SNMP Engineidの設定モジュールは、ユーザーがこのモジュールでSNMP Engineidの操作を設定することができます。

SNMP engineid configuration

Engineid	<input type="text" value=""/>	Example:18c30125fa
Operation Type	Configuration	

エンジンID	エンジンID, Hex ,1-32文字	
オペレーション	構成	設定操作
	デフォルト	デフォルトに戻す (デフォルトは会社IDプラスローカルMACアドレス)

2.8.7. セキュリティIPコンフィグ

管理者は、ユーザーがSNMPマネージャのセーフIPアドレスを追加または削除することができるアドレス設定モジュールをIP。

Manager Security IP Configuration

Security IP Address	<input type="text" value=""/>	Example:1.1.1.5
---------------------	-------------------------------	-----------------

<input type="checkbox"/>	Security IP Address
--------------------------	---------------------

セキュリティ IP 住所	SNMP 管理セキュリティ IPv4/IPv6 アドレス	
オペレーション	応募する	セキュリティIPの追加
	削除	セキュリティIPの削除

2.8.8. SNMP統計

SNMP統計情報モジュールは、このモジュールのユーザーは、SNMP機能のフィードバック情報を表示することができます。

SNMP Statistics

SNMP packets input	0
Bad SNMP version errors	0
Unknown community name	0
Illegal operation for community name supplied	0
Encoding errors	0
Number of requested variables	0
Number of altered variables	0
Get-request PDUs	0
Get-next PDUs	0
Set-request PDUs	0
SNMP packets output	0
Too big errors (Max packet size 1500)	0
No such name errors	0
Bad values errors	0
General errors	0
Get-response PDUs	0
SNMP trap PDUs	0

[Refresh](#)

2.9. オンビフ コンフィグ

2.9.1. サーバー構成

Onvifサーバーグローバルスイッチ設定モジュールは、ユーザーがOnvifサーバーグローバルスイッチの操作を行うことができます。

Server Config

Server Config	<input type="checkbox"/> Off
---------------	------------------------------

サーバーコンフィグ オペレーション	オフ：クローズ操作（デフォルト）
	オン：スタート

2.9.2. 検出設定

Onvif 検出コンフィグモジュール、[Send] ボタンをクリックして Onvif 検出パケットを送信し、デバイスを検出します。

Detect Config

<input type="checkbox"/>	MAC Address	IP Address	Port	Model	Description	Location

[Send Package](#) [Delete](#)

Detect Config

<input type="checkbox"/>	MAC Address	IP Address	Port	Model	Description	Location
<input type="checkbox"/>	48:ea:63:28:a0:63	192.168.19.72	18	IPC3315-IR3-PF40-DT	IPC3315-IR3-PF40-DT	Unknow
<input type="checkbox"/>	48:ea:63:60:69:83	192.168.19.8	18	NVR304-32E-B-DT	NVR304-32E-B-DT	country

[Send Package](#) [Delete](#)

2.10. ループバック 検出

2.10.1. ポートモード

このページでは、ループ検出制御方法を設定する。

Port Mode "ページを 表示するには、" Monitor Management"->"Loopback Detection"->"Port Mode"をクリック し、"Apply"をクリックして設定します。

Port Mode

Port	--Please select --
Loopback-detection Mode	No

Apply

ポート	イーサネットポート名
ループバック検出モード	ループ時の動作： No：制御モードなし シャットダウン：ポート無効 ブロック：ブロックポート
オペレーション	運営 ループの ループ ループ検知機能 適用：制御モードを設定する

Port	Loopback-detection Mode
Ethernet1/0/1	No
Ethernet1/0/2	No
Ethernet1/0/3	No
Ethernet1/0/4	No
Ethernet1/0/5	No
Ethernet1/0/6	No
Ethernet1/0/7	No
Ethernet1/0/8	No
Ethernet1/0/9	No
Ethernet1/0/10	No
Ethernet1/0/11	No
Ethernet1/0/12	No

ポート	イーサネットポート名
ループバック検出モード	シャットダウン：ポートブロックを無効にする：ポートをブロックする No:ポートループ検出を無効にする

2.10.2. VLANループバック

このページでは、VLAN ループ検出機能の有効/無効を設定します。
 VLAN Loopback」 ページを表示するには、 をクリックします。 モニター管理
 ->ループバック検出->VLANループバック、"適用 "をクリックして設定します。

VLAN Loopback

Port	--Please select --
VLAN List	(1-4094, for example: 1;3-6)

Port	VLAN List
Ethernet1/0/1	
Ethernet1/0/2	
Ethernet1/0/3	
Ethernet1/0/4	
Ethernet1/0/5	
Ethernet1/0/6	
Ethernet1/0/7	
Ethernet1/0/8	

ポート	イーサネットポート名
VLAN ID	VLAN ID、範囲1~4094
オペレーション	適用：VLANループ検出設定

2.10.3. インターバル時間

このページを使用して、ループ検出間隔を設定できます。
 インターバル時間」 ページを表示するには、 をクリックします。 モニター管理
 ->ループバック検出->インターバル時間、"適用 "をクリックして設定します。

Interval Time

Loopback-detection Interval Time	5	(5-300s, Default:5s)
No Loopback-detection Interval Time	3	(1-30s, Default:3s)

ループバック検出間隔時間	ループ間のインターバル時間、サイズ 5-300秒、デフォルトは5。
ループバック検出間隔なし時間	いいえ ループ インターバル サイズ 1-30 秒、デフォルトは3。
オペレーション	設定：テスト時間を自分で設定する。 Default：デフォルト設定に戻す、ループ検知間隔35秒、ループ検知なし インターバルは15秒。

2.10.4. 回復タイムアウト

このページでは、ループ検知を自動的に非制御状態に戻すよう設定する。「回復タイムアウト」ページを表示するには、[こちら](#) をクリックします。 モニター管理

->ループバック検出->回復タイムアウト, 「適用」をクリックして設定する。

Recovery Timeout

Recovery Switch Timeout	600	(0-3600s, Default:600s)
<input type="button" value="Apply"/>		

回復スイッチのタイムアウト	ループによりポートが使用不能またはブロックされた場合、自動的に制御不能な時間まで回復します。0に設定した場合、自動回復時間は0~3600秒となります。回復機能は無効にする。デフォルトは600秒。
----------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------

2.11. LLDP コンフィグ

2.11.1. グローバル設定

このページでは、LLDP 機能の有効/無効の設定、更新メッセージの送信間隔の設定、メッセージのエージング時間倍率の設定、更新メッセージの送信遅延時間の設定、Trap メッセージの送信間隔の設定を行います。

Global Config

This page is used to configure global properties of the LLDP function

Status	Disabled	(5-32768),Default:30
Hello Message Sending Time	30	(2-10),Default:4
Aging Multiple	4	(1-8192),Default:2
Delay Time	2	(5-3600),Default:5
Trap Interval	5	(5-3600),Default:5
Operation Type	Apply	
<input type="button" value="Apply"/>		

ステータス(ldp enable)	有効：グローバルオン LLDP 機能 Disable：グローバルオフ LLDP機能
ハローメッセージ送信時間	更新メッセージの送信間隔は5-32768秒。秒。

複数の高齢化	数値 マグニチュード 2 ～10の間、デフォルト設定 は4
遅延時間	1～8192秒の間の値。 デフォルト設定は2
トラップ間隔	5秒から3600秒の間の値、 デフォルト設定は5
オペレーション・タイプ	応募：応募する ユーザーによる自己設定 デフォルト デフォルト設定に戻す

2.11.2. ポート設定

このページでは、LLDP ポート機能の有効/無効を設定できます。

Trust Config

This page is used to set port attributes for the LLDP function

	Port	--Please select --
LLDP Enable	Enabled	▼
Trap Enable	Disabled	▼
Agent State	both	▼
Operation Type ?	Discard	▼
Entry Max ?	100	(5-500,Default:100)

Apply

ポート	イーサネットポート名
LLDP ポート イネーブルタイプ	LLDP 機能の有効化または無効化
LLDP ポート トラップ有効タイプ	トラップ機能の有効化または無効化
LLDPモード	エージェントの 状態：送信；受 信；両方 無効
LLDPのネイバー値が大きすぎる	破棄：新しい隣人情報を破棄する Delete：removeテーブルでエー ジング時間が最も短いネイバー情 報を削除する。 新しい隣人情報を追加する
LLDPネイバー数最大値	リモート・テーブルの最大セーブ・エン トリ サイズ5-500

Port	LLDP Enable	Trap Enable	Agent State	Operation Type	Entry Max
Ethernet1/0/1	Enabled	Enabled	Both	Discard	100
Ethernet1/0/2	Enabled	Disabled	Both	Discard	100
Ethernet1/0/3	Enabled	Disabled	Both	Discard	100
Ethernet1/0/4	Enabled	Disabled	Both	Discard	100
Ethernet1/0/5	Enabled	Disabled	Both	Discard	100
Ethernet1/0/6	Enabled	Disabled	Both	Discard	100
Ethernet1/0/7	Enabled	Disabled	Both	Discard	100
Ethernet1/0/8	Enabled	Disabled	Both	Discard	100
Ethernet1/0/9	Enabled	Disabled	Both	Discard	100
Ethernet1/0/10	Enabled	Disabled	Both	Discard	100
Ethernet1/0/11	Enabled	Disabled	Both	Discard	100
Ethernet1/0/12	Enabled	Disabled	Both	Discard	100
Ethernet1/0/13	Enabled	Disabled	Both	Discard	100
Ethernet1/0/14	Enabled	Disabled	Both	Discard	100
Ethernet1/0/15	Enabled	Disabled	Both	Discard	100
Ethernet1/0/16	Enabled	Disabled	Both	Discard	100
Ethernet1/0/17	Enabled	Disabled	Both	Discard	100
Ethernet1/0/18	Enabled	Disabled	Both	Discard	100

2.11.3. TLVコンフィグ

このページでは、ポートの TLV プロパティを設定できます。

TLV Config

This page is used to set the properties of TLV

Port	--Please select --
TLV Config	--Please select --

[Apply](#)

Port	TLV Config
Ethernet1/0/1	
Ethernet1/0/2	
Ethernet1/0/3	
Ethernet1/0/4	
Ethernet1/0/5	
Ethernet1/0/6	
Ethernet1/0/7	
Ethernet1/0/8	

ポート	イーサネットポート名
LLDP ポートの説明	ポート 説明 名前情報 必要 である必要があり ます。 必要です 設定済み
LLDP システム能力	インフォメーション 説明 システム 能力
LLDP システムの説明	システムを説明するメッセージ
LLDPシステム名	システム名情報

2.11.4. 近隣情報

このページでは、LLDP コンフィギュレーション・メッセージを表示できます。

Neighbor Info

This page is used to view information about other neighbors

Neighbor Table

Showing 10 ▾ Entries Showing 1 to 1 of 1 entries

Number	Local Port	Chassis ID	CID	Port ID	PID	Time Mark	System Name
1	Ethernet1/0/8	30-b4-9e-bc-b7-44	4	30-b4-9e-bc-b7-44	MAC address	3373	-

[First](#) [Previous](#) [1](#) [Next](#) [Last](#)

3. スイッチ コンフィグ

3.1. ポート コンフィグ

3.1.1. ポート設定

このページは主に物理ポートの基本設定を行う。
 には 表示する その 「ポート 」 をクリックし
 、 "Apply " をクリックします。 Config->Port Config->Port Config

Port Config

This page is used to configure basic port parameters.

Ports	Ethernet1/0/1
Port Alias	<input type="text"/> (1-200 character) ?
Admin Status	Enabled
Speed	Auto
Duplex	Auto
Flow Control	Disabled ?
MDI	auto ?

Apply

, "Apply " をクリックして設定します。

港湾	物理ポートの選択
ポートエイリアス	ポートエイリアス名を設定する。
管理者ステータス	ポートの状態有 効 無効
スピード	ポートスピード： オート、10M、100M、1000M
デュプレックス	ポートデュプレックス： オート、ハーフ、フル
フロー制御	ポートフロー制御： 無効、有効
ムディ	ムディ auto, across, normal, デフォルト は オート

Port	Port Alias	Admin Status	Speed/Duplex		Flow Control	MDI
			Config	Actual		
Ethernet1/0/1		Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto
Ethernet1/0/2		Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto
Ethernet1/0/3		Enabled	Auto/Auto	1000M/Full	Disabled	auto
Ethernet1/0/4		Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto
Ethernet1/0/5		Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto
Ethernet1/0/6		Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto
Ethernet1/0/7		Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto
Ethernet1/0/8		Enabled	Auto/Auto	1000M/Full	Disabled	auto
Ethernet1/0/9		Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto
Ethernet1/0/10		Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto
Ethernet1/0/11		Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto
Ethernet1/0/12		Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto
Ethernet1/0/13		Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto
Ethernet1/0/14		Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto
Ethernet1/0/15		Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto
Ethernet1/0/16		Enabled	Auto/Auto	Link Down	Disabled	auto

ポート	物理ポート
ポートエイリアス	ポートエイリアスの説明
管理者ステータス	ポートの状態有 効 無効
スピード	ポートレート： 10：10M 100：100M 1000：1000M Auto：自動交渉レート
デュプレックス	デュプレックス Auto：自動ネゴシエーションモード Half：半二重モード フル：全二重モード
フロー制御	ポートフロー制御ステータス：
ムディ	ムディ auto, across, normal, デフォルト は オート

3.1.2. ポートコンボモード

このページは主にコンボポートの基本設定を行う。

Port Combo Mode

This page is used to configure port Combo mode.

Ports	Ethernet1/0/25 ▼
Port Combo Mode	copper ▼

Apply

Ports	Port Combo Mode
Ethernet1/0/25	sfp-preferred-auto
Ethernet1/0/26	sfp-preferred-auto

ポート	物理ポートの選択
ポートコンボモード	カッパー：カッパーを選択 ファイバー：ファイバーを 選択 sfp-preferred-auto：オートモード

3.1.3. ポート10Gモード(特定)

このページは主に10Gポートの基本設定を行う。

Port 10G Mode

This page is used to configure 10G port mode.

Ports	Ethernet1/0/25 ▼
Port 10G Mode	dac-50cm ▼

Apply

Ports	Port 10G Mode
Ethernet1/0/25	fiber-auto
Ethernet1/0/26	fiber-auto
Ethernet1/0/27	fiber-auto
Ethernet1/0/28	fiber-auto

ポート	物理ポートの選択
ポート10Gモード	DAC-50cmDAC 50cm dac-100cm : DAC 100cm DAC-300cm : DAC 300cm DAC-500cm : DAC 500cm fiber-10g : ファイバ強制 10G fiber-1g: ファイバ強制 1G fiber- 2500M : ファイバー強制2500M ファイバーオートファイバーオート モード

3.2. ポート ミラー

このセクションは、ポートミラーリング機能の設定に使用できます。
ポートミラーページを表示するには **Apply** をクリックして設定
します。

Port Mirror

This page is used to configure port mirror.

Session ID	1		
Destination Port	Ethernet1/0/1		
Source Port	--Please select --		
CPU Source	Disabled		
Access List		(1-7999)	
Mirror Direction	rx		

Apply

Port Mirror Table

	Session ID	Destination Port	Source Port		Access List
			Tx	Rx	
<input type="checkbox"/>	1				
<input type="checkbox"/>	2				
<input type="checkbox"/>	3				
<input type="checkbox"/>	4				

Delete

セッション	ミラーセッション
送信先ポート	ミラー宛先ポート
ソースポート	ミラーソースポート
CPUソース	CPUソース： 無効 有効
アクセスリスト	に設定されたアクセス制御リスト 。 ミラーソースポート

ミラーの方向	宛先ポートへのフィルタリングに必要なデータの種類：送信と受信の両方 Rx：受信 Tx：送信
--------	-----------------------------------------------------

3.3. ポート 孤立

このページは主にポートアイソレーションの設定に使用する。

Port Isolation Configuration

This page is used to configure port isolate.

Isolate-Port Group Name	<input style="width: 95%;" type="text" value=""/> (1-32 character)
Isolation Ports	<input type="text" value="--Please select --"/>

Add

Port Isolation Table

<input type="checkbox"/>	Isolate-Port Group Name	Isolation Ports
--------------------------	-------------------------	-----------------

Delete

アイソレート・ポート・グループ名	その 名称 ポート グループ、値1~32文字
アイソレーション・ポート	追加するアイソレーション・ポート を選択する 分離グループ

3.4. ポート チャンネル

3.4.1. ポート・チャンネル・グループ

このセクションは、収束したグループを作るために使うことができる。
「ポートチャンネルグループ」ページを表示するには、「ポートチャンネル」→「ポ
ートチャンネルグループ」をクリックし、「適用」をクリックして設定します。

Port Channel

This page is used to configure port channel.

Load Balance Alogorithm	<input type="text" value="src-mac"/>
-------------------------	--------------------------------------

Apply

ロードバランスモード	src-mac ：送信元MACに応じて負 荷分散を 実行する 。 dst-mac ：ターゲットMACに応じ てロードバランシングを 実行する 。 src-dst-mac ：ソースとターゲッ トのMACに基づいてロードバラン シングを実行する。 src-ip ：送信元IPに応じてロード バランシングを実行する。
------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>dst-ip : ロードバランシングの実行</p>
	<p>ターゲットIPに応じて</p> <p>dst-src-ip : ターゲットIPソースに従ってロードバランシングを実行する。</p> <p>dst-src-mac-ip : ターゲットとソースのMacとソースIPに基づいてロードバランシングを実行する。</p> <p>ingress-port : イングレス・ポート。</p>

LAG	<input type="text" value=""/> (1-64)
Name	<input type="text" value=""/> (1-200 character)
Mode	on ▼
State	Enabled ▼
Member Port	--Please select --

Apply

Port Channel Table

<input type="checkbox"/>	LAG	Name	Mode	State	Ports	Load Balance Alogorithm
--------------------------	-----	------	------	-------	-------	-------------------------

Delete

LAG	には作成する a 収束グループ番号、値1-8。
名称	LAGグループの名前、値1-32 性格
モード	フォースポート に参加ポートチャンネルに参加させる。 Active : ポートの LACP を有効にし、Active モードに設定します ; Passive : ポートで LACP を有効にするパッシブ・モードに設定する

州	有効 無効
メンバー・ポート	イーサネットポート名

3.4.2. LACP

このページはシステムプライオリティとポートプライオリティを設定できます。LACP」ページを表示するには、[Switch Config] -> [Port channel] ->

LACP

This page is used to configure port channel LACP.

System Priority	32768	(0-65535, default 32768)
-----------------	-------	--------------------------

Apply

Port	--Please select--
Port Priority	<input style="width: 80%;" type="text"/> (0-65535, default 32768)
Timeout	long ▼

Apply

LACP Port Setting Table

<input type="checkbox"/>	Port	Status	Port Priority	FLAG ?
<input type="checkbox"/>				

Delete

[LACP]をクリックします。

LACPシステム優先度	範囲：0-65535
ポートリスト	イーサネット ポート名称 追加 を追加しました。 コンバージェンス・グループ
LACPポート優先度	範囲：0-65535
タイムアウト	長い 短い

3.5. ジャンボフレーム

このページではジャンボフレームを設定する。

Jumbo Frame Configuration

This page is used to configure Jumbo Frame!

Status	Disabled ▼
Jumbo Frame Size	<input style="width: 80%;" type="text"/> 1500-12270 (Unit: Bytes)

Apply

ステータス	無効（デフォルト） 有効
ジャンボフレームサイズ（単位：バイト）	サイズは1500-12270、デフォルトは1500。

3.6. ポートレート

このページはPort Rate用に設定されている。
 ポートレート」ページを表示するには「Apply」をクリックして設定します。

Port Rate

This page is used to configure port rate.

Ports	--Please select--	
Limit Type	Ingress	
Status	Disabled	
Rate(Kbps)	No Limit	1-10000000

Apply

港湾	イーサネットポート名
リミット・タイプ	リミットタイプ： Egress：送信 Ingress：受信 全て：送信と受信
ステータス	無効 有効
レート	の帯域幅制御レート Kbpsの範囲 1-1000000

Port	EgressRate(Kbps)	IngressRate(Kbps)
Ethernet1/0/1	1000000	1000000
Ethernet1/0/2	1000000	1000000
Ethernet1/0/3	1000000	1000000
Ethernet1/0/4	1000000	1000000
Ethernet1/0/5	1000000	1000000
Ethernet1/0/6	1000000	1000000
Ethernet1/0/7	1000000	1000000
Ethernet1/0/8	1000000	1000000

ポート	イーサネットポート名
イングレス帯域幅閾値(Kb)	表示 現在の 現在の 受信データ帯域幅の 制限を表示します。 Kbps 1-1000000
エgress帯域幅閾値(Kb)	現在の送信データの帯域制限を 表示します。 1-1000000kbps

3.7. ストームコントロール

このページではポートのストームコントロール機能を設定することができます。「Storm Control」ページを表示するには、「Switch Config」→「Storm Control」をクリックし、「Apply」をクリックして設定します。

Storm Control

This page is used to configure storm control.

Ports	--Please select --	
Type	Broadcast	▼
Status	Disabled	▼
Rate(Kbits)	No Limit	1-1000000

Apply

ポート	イーサネットポート名
タイプ	ブロードキャスト/マルチキャスト/ユニキャスト
ステータス	無効：ストームコントロール機能を無効にする：ストームコントロール機能をオンにし 制限速度
レート	からの暴風雨制御率 1-1000000 kbpsまたはpps 1-1488095

Port	Broadcast	Unknown Multicast	Unknown Unicast
Ethernet1/0/1	Disabled	Disabled	Disabled
Ethernet1/0/2	Disabled	Disabled	Disabled
Ethernet1/0/3	Disabled	Disabled	Disabled
Ethernet1/0/4	Disabled	Disabled	Disabled
Ethernet1/0/5	Disabled	Disabled	Disabled
Ethernet1/0/6	Disabled	Disabled	Disabled
Ethernet1/0/7	Disabled	Disabled	Disabled
Ethernet1/0/8	Disabled	Disabled	Disabled

ポート	イーサネットポート名
ストームコントロールタイプ	ブロードキャスト/マルチキャスト/ユニキャスト

3.8. MACアドレス設定

3.8.1. スタティックMAC

スタティックMACアドレスを設定し、MACアドレスとポートおよびVLANのマッピング関係を確立します。

MAC Address Config

MAC Address	00-00-00-00-00-00
VLAN ID	VLAN0001
Port	Ethernet1/0/1

[Add](#)

Static MAC List

Showing 10 Entries Showing 0 to 0 of 0 entries Search

<input type="checkbox"/>	No.	MAC Address	VLAN ID	Port
0 results found.				

[Delete](#) [First](#) [Previous](#) [Next](#) [Last](#)

MACアドレス	16進数のMACアドレス、フォーマットは XX-XX-XX-XX-XX-XX		
VLAN ID	作成されたVLAN ID		
ポート	マッピングされたポート		
オペレーション	追加	その マッピング	関係 と
	削除	削除 その マッピング	関係
		MAC アドレスとポート、VLANが追加されます。	
		その 関係 の その 指定されたMACアドレス、VLAN、ポート	

3.8.2. ブラックホールMAC

ブラックホールMACアドレスを設定し、MACアドレスとポートおよびVLANのマッピング関係を確立します。

Black Hole MAC

VLAN ID	00-00-00-00-00-00
VLAN ID	VLAN0001
Type	both

[Add](#)

Black Hole MAC List

Showing 10 Entries Showing 0 to 0 of 0 entries Search

<input type="checkbox"/>	No.	MAC Address	VLAN ID	Type
0 results found.				

[Delete](#) [First](#) [Previous](#) [Next](#) [Last](#)

MACアドレス	16進数のMACアドレスで、フォーマットはXX-XX-XX-XX-XX-XX。 スイッチによってネットワークに転送される	
VLAN ID	作成されたVLAN ID	
ブラックホール・ベース・タイプ	ソース	ソース・アドレス・フィルターに基づくソース
	目的地	ターゲット・アドレス・フィルターに基づくターゲット
	両方	どちらもは基づいているに 基づいている。ソース アドレスと 宛先アドレスのフィルタに基づきま す。 値は
オペレーション	追加	MACアドレス間のマッピング関係 とポートおよびVLANが追加されます。
	削除	削除 そのマッピング 関係 の その 指定されたMACアドレス、VLAN、ポート

Black Hole MAC List				
No.	MAC Address	VLAN ID	Type	
1	00-00-11-22-00-00	VLAN0001	both	

Delete

First Previous 1 Next Last

現在存在するMACアドレス、ポート、VLANマッピングの関係を表示します。

3.8.3. エージング・タイム

スイッチがMACアドレスを学習するたびに、そのアドレスを保存し、エージング時間を設定する。時間が経過すると、そのアドレスはスイッチから削除される。

Aging-time

Aging-time	300	(10-1000000)Second, default is 300, 0:No Aging
------------	-----	------------------------------------------------

Apply

MACアドレス エージング・ タイム	エージング時間の範囲は10-1000000です。	
オペレーション	応募する	スイッチにエージング時間を設定

3.8.4. MACアドレスリスト

スイッチ内のMACアドレスを素早く照会。

MAC Address List

Showing 10 Entries Showing 1 to 3 of 3 entries Search

VLAN ID	MAC Address	Type	Creator	Port
1	00-00-11-22-00-00	STATIC	User	(blackhole) (both)
1	30-B4-9E-BC-B7-44	DYNAMIC	Hardware	Ethernet1/0/12
1	84-E5-DB-E0-1F-5E	STATIC	System	CPU

First Previous 1 Next Last

VLAN ID	作成されたVLAN ID。VLAN内のアドレスを示す。
MACアドレス	16進数のMACアドレス、フォーマットは xx-xx-xx-xx-xx-xx
タイプ	MACアドレスタイプ
クリエイター	MACアドレス作成者
ポート	ポートからMACアドレスを探す

注：条件を有効にするには、後ろの小さなボックスをチェックしてください。デフォルトでは、条件はありません。条件がない場合は、すべてのMACアドレス情報が表示されます。

3.9. 午前

AMモジュールでは、指定したポートにAM IPセグメントとMAC-IPセグメントを設定し、セグメント内からのメッセージをポート経由で転送することを許可/拒否することができる。

Access Manage(AM)

Through the port binding feature of AM access management, network administrators can bind legitimate user IP (MAC-IP) addresses to specified ports. After the binding operation, only messages sent by users with specified IP (MAC-IP) addresses can be forwarded through this port, enhancing users' monitoring of network security.

Port	--Please select --
Binding Type	IP
IP Address	
Number ?	1

Add

AM Configuration Table

<input type="checkbox"/>	Port	Binding Type	MAC Address	IP Address	Number

Delete

ポート	指定ポート番号
製本タイプ	IPまたはMAC-IP方式を選択
IPアドレス	開始IPアドレス、小数点
番号	IP開始後の連続アドレス数 住所,1-32
MACアドレス	送信元MACアドレス

3.10. AAA

3.10.1. 半径

Radius グローバル設定モジュールでは、グローバル Radius 機能サービスを設定できます。

Radius Global Configuration

The user priority for Radius authentication login is 1

Key Type	Plain Key	
Radius Global Key		1-64Characters
System Recovery Time	5	Range:1-255(Min),Default:5
Radius Retransmit Times	3	Range:0-100,Default:3
Radius Server Timeout	3	Range:1-1000(Sec),Default:3

Apply

Radius Global Information				
Key Type	Radius Global Key	System Recovery Time	Radius Retransmit Times	Radius Server Timeout
Plain Key		5	3	3

キータイプ	プレーンキー：1-64文字 暗号キー1-64文字、入力平文アプリケーションで暗号文を暗号化する。
半径 グローバルキー	キー文字列,1-64文字, デフォルトを使用, を選択する。 Apply をクリックすると、Radius キーのデフォルトを設定できます。
システムの回復時間	ラディウス サービス 回復 時間 復旧時間 復旧時間 に対する アクセシビリティ、1-255分、デフォルトは5。
半径再送信タイムズ	Radius 認証パケットの再送時間、1-100 秒、デフォルトは 3。
ラディウス サーバータイムアウト	radiusサーバーの対応する時刻。 秒、デフォルトは3。

Radius 認証設定モジュールでは、ユーザーは Radius 認証サーバーを設定できます。

Radius Authentication Server Configuration

Authentication Server IP		IPv4 or IPv6 address
Authentication Server Port(optional)		Range:0-65535
Key Type	Plain Key	
Radius Key(optional)		1-64Characters
Access Mode	None	
Primary Authentication Server	Non-primary authentication server	

Apply

Showing 10 Entries Showing 0 to 0 of 0 entries

NO.	Server IP Address	Port Number	Primary Server	Key Type	Radius Key	Access Mode
0 results found.						

Delete First Previous Next Last

認証 サーバーIP	を参照してください。住所のIPv4またはIPv6のの半径認証サーバー	
認証 サーバーポート	ポート番号のラジウス認証server(optional),0-65535	
キータイプ	プレーンキー：1-64文字	
	暗号キー 1-64文字 入力 平文アプリケーションで暗号文を暗号化する。	
半径キー	キー文字列,1-64文字	
アクセス・モード	なし：によって、すべてのサービスが現在のRADIUSサーバーを使用できます。デフォルト	
	Telnet：RADIUSサーバはtelnet認証のみを使用する。	
	Dot1x：RADIUSサーバーは802.1x認証のみを使用します。	
	ワイヤレス RADIUS サーバー のみ使用 ワイヤレス 認証	
プライマリ認証サーバー	一次認証サーバー	プライマリ認証サーバーとしてradiusサーバーを指定する
	非一次認証サーバー	非プライマリ認証サーバとしてradiusサーバを指定する

3.10.2. ラジウス会計

Radius認証およびアカウントモジュールでは、ユーザーはRadius課金サーバーを設定することができます。

Radius Accounting Server Configuration

Accounting Server IP	<input type="text"/>	IPv4 or IPv6 address
Authentication Server Port(optional)	<input type="text"/>	Range:0-65535
Key Type	Plain Key	
Radius Key(optional)	<input type="text"/>	1-64Characters
Primary Authentication Server	Non-primary authentication server	

NO.	Server IP Address	port number	Key Type	Radius Key	Primary Server
0 results found.					

会計サーバー IP	Radius認証サーバーのIPv4またはIPv6アドレス
会計サーバー ポート	Radius 認証 サーバー ポート 番号 (オプション),0-65535

キータイプ	プレーンキー：1-64文字	
	暗号キー 1-64文字、入力平文アプリケーションで暗号文を暗号化する。	
半径キー	キー文字列,1-64文字	
プライマリー 会計サーバー	プライマリー	radiusサーバーの指定とプライマリとして
	アカウントティングサーバー	アカウントティングサーバー
	プライマリー アカウントティングサーバー	radiusサーバーを非プライマリに指定する アカウントティングサーバー

3.10.3. タックス

Tacacsグローバル設定モジュールは、ユーザーがグローバルTacacs機能サービスを設定することができます。

Tacacs Global Configuration

The user priority for Tacacs authentication login is 1

	Key Type	Plain Key ▼
	Tacacs Global Key	1-64 Characters
	Tacacs Server Global Timeout	3 Range:1-60(Sec),Default:3

Apply

Tacacs Global Information		
Key Type	Tacacs Global Key	Tacacs Server Global Timeout
Plain Key		3

キータイプ	プレーンキー：1-64文字	
	暗号キー1-64文字、入力平文アプリケーションで暗号文を暗号化する。	
タックス・グローバル・キー	タックス キー	認証 グローバル ,1-64 文字
タックスサーバーグローバル タイムアウト	Tacacs 認証タイムアウト ,1-60 秒、 デフォルト3秒	

Tacacsサーバー設定モジュールでは、ユーザーはTacacs認証サーバーを設定できる。

Tacacs Authentication Server Configuration

Authentication Server IP	<input type="text"/>	IPv4 or IPv6 address
Authentication Server Port(optional)	<input type="text"/>	Range:0-65535
Key Type	Plain Key	
Tacacs Key(optional)	<input type="text"/>	1-64Characters
Tacacs Server Timeout(optional)	<input type="text"/>	Range:1-60(Sec),Default:3
Primary Authentication Server	Non-primary authentication server	

Apply

Showing 10 Entries Showing 0 to 0 of 0 entries Search

NO.	Server IP Address	port number	Primary Server	Key Type	Tacacs Key	Tacacs Server Timeout
0 results found.						

First Previous Next Last

Delete

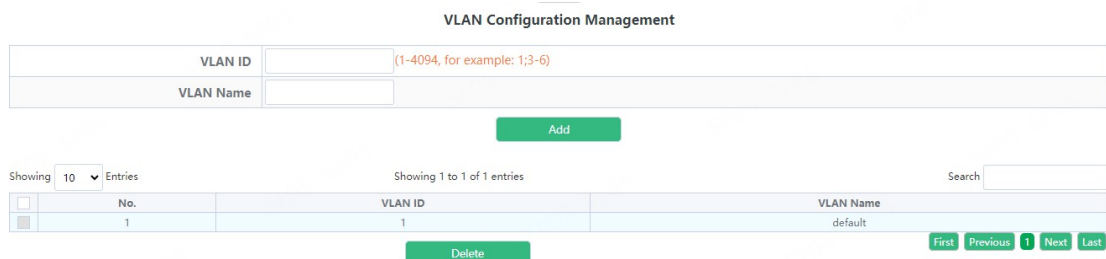
認証 サーバーIP	Tacacs認証サーバーIPv4アドレス、10進数 ポイント	
認証 サーバーポート	タックス 認証 サーバー ポート 番号 (オプション),0-65535	
キータイプ	プレーンキー：1-64文字	
	暗号 キー 1-64 文字 入力 平文 アプリケーションで暗号文を暗号化する。	
タックス・キー	tacacs+サーバーの暗号化キーを設定する 1-64文字	
タックス サーバ ータイムアウト	tacacs+サーバー認証時間の設定 間隔<1-60>秒 デフォルトは3歳。	
プライマリ認証サー バー	一次会計 サーバー	Tacacsサーバをプライマリ・アカ ウンティング・サーバとして指定 する。 サーバ
	非一次会計 サーバー	Tacacsサーバを非プライマリ・ア カウンティング・サーバとして指 定する。 サーバ

4. VLANコンフィグ

4.1. VLANコンフィグ

4.1.1. VLAN ID

VLAN設定機能モジュール、ユーザーはこのモジュールでVLANを追加または削除します。



VLAN ID	VLANのシリアル番号、範囲：2～4094	
VLAN名	デフォルトでは、VLAN+4桁のシリアル番号です。 番号、範囲：1-64文字。	
オペレーション	追加	VLANの追加
	削除	VLANの削除

4.1.2. VLANの表示

VLAN機能モジュールを表示し、このモジュールのVLANを表示します。

Show VLAN List

Showing Entries Showing 1 to 1 of 1 entries Search

VLAN ID	Name	Type	Media	Ports
1	default	Static	ENET	Ethernet1/0/1, Ethernet1/0/2 Ethernet1/0/3, Ethernet1/0/4 Ethernet1/0/5, Ethernet1/0/6 Ethernet1/0/7, Ethernet1/0/8 Ethernet1/0/9, Ethernet1/0/10 Ethernet1/0/11, Ethernet1/0/12 Ethernet1/0/13, Ethernet1/0/14 Ethernet1/0/15, Ethernet1/0/16 Ethernet1/0/17, Ethernet1/0/18 Ethernet1/0/19, Ethernet1/0/20 Ethernet1/0/21, Ethernet1/0/22 Ethernet1/0/23, Ethernet1/0/24 Ethernet1/0/25, Ethernet1/0/26 Ethernet1/0/27, Ethernet1/0/28

4.1.3. ポート設定

スイッチポートタイプの設定、ユーザーはこのモジュールのスイッチポートタイプを変更することができます。

Port Mode Configure

Ports	<input type="text" value="--Please select --"/>
Mode	<input type="text" value="Access"/>
Native Vlan	<input type="text" value="VLAN0001"/>
Ingress Check	<input type="text" value="Enabled"/>
Tagged VLAN	<input type="text" value="Range(1-4094)"/> <input type="text" value="Example 1-3;8"/>
UnTagged VLAN	<input type="text" value="Range(1-4094)"/> <input type="text" value="Example 1-3;8"/>

Port	Mode	Native Vlan	Ingress Check	Tag Vlan List	Untag Vlan List
Ethernet1/0/1	Access	VLAN0020	Enabled	-	-
Ethernet1/0/2	Trunk	VLAN0001	Enabled	1-4094	-
Ethernet1/0/3	Trunk	VLAN0001	Enabled	-	-
Ethernet1/0/4	Access	VLAN0001	Enabled	-	-
Ethernet1/0/5	Access	VLAN0001	Enabled	-	-
Ethernet1/0/6	Access	VLAN0001	Enabled	-	-
Ethernet1/0/7	Access	VLAN0001	Enabled	-	-
Ethernet1/0/8	Access	VLAN0001	Enabled	-	-

ポート	ポート名	
モード	アクセス	
	トランク	
	ハイブリッド	
ネイティブVlan	ポートPVID	
侵入チェック	有効	データ・パケットがスイッチに入るとき、VLANインGRESS・フィルタはデータ・パケットのインGRESS・ポートが指定された(転送) VLAN
	無効	データ・パケットがスイッチに入るとき、VLANインGRESS・フィルタは、データ・パケットのインGRESS・ポートが、VLANインGRESS・フィルタに属するかどうかをチェックしません。 与えられた(転送された) VLAN
タグ付けされたVLAN	タグVLAN範囲1-4094、例1-3;8	

タグなし バーチャルLAN	タグなしVLAN範囲1-4094、例1-3;8
------------------	-------------------------

4.2. GVRPコンフィグ

4.2.1. GVRPコンフィグ

スイッチはグローバル GVRP 設定を開始し、ユーザーはグローバル GVRP をオンまたはオフにします。

GVRP Config

Enabled Off

有効/無効	有効にする	グローバルGVRPモジュール機能の開始
グローバルGVRP	無効	グローバルGVRPモジュール機能を無効にする

スイッチはGARPパラメータを設定し、ユーザーはGARPを管理するために様々なタイマーの値を設定する。

GVRP Config

Enabled

Join Timer	200	Range:200-500 milli-second, default is 200
Leave Timer	600	Range:500-1200 milli-second, default is 600
Leaveall Timer	10000	Range:5000-60000 milli-second, default is 10000

Apply

タイマー参加	200-500ミリ秒	
放置タイマー	500-1200ms	
リーブオールタイマー	500-60000ms	
オペレーション	応募する	タイマーの値を変更する

4.2.2. GVRPポート

スイッチポートはGVRP設定を開始し、ユーザーはポートGVRPをオープンまたはクローズします。

Enable GVRP On Port

Enable the port will not be able to change the port mode

Ports:

Status:

Apply

Port: _____ GVRP Status: _____

ポート	ポート名	
有効/無効	有効にする	ポートGVRPモジュール機能の開始
GVRP	無効	ポートGVRPモジュール機能を無効にする

4.3. クインク

4.3.1. Dot1qトンネルを有効にする

Switch dot1q tunnel configurationでは、dot1qトンネル機能を有効にするようにポートを設定します。

ポート	ポート名	
オペレーション	応募する	dot1qトンネルを有効にする
	削除	dot1qトンネルを無効にする

4.3.2. Dot1q トンネル TPID

スイッチポートdot1qトンネルtpidコンフィギュレーションは、ユーザーがポートdot1qトンネルtpidパラメータを設定します。

ポート	ポート名	
プロトコル	0x8100	外側のTPIDを0x8100に設定する。
	0x9100	外側のTPIDを0x9100に設定する。
	0x9200	外側のTPIDを0x9200に設定する。
	プロトコル ID	カスタムTPIDの設定
プロトコルID	カスタムTPIDの値	

Port	GVRP Status
Ethernet1/0/1	
Ethernet1/0/2	
Ethernet1/0/3	
Ethernet1/0/4	
Ethernet1/0/5	
Ethernet1/0/6	
Ethernet1/0/7	
Ethernet1/0/8	

4.4. プロトコル VLAN

スイッチのプロトコル vlan 設定で、ユーザーはプロトコル vlan を設定できます。

Protocol VLAN Configure

Mode	ethernetII
Ethernet Type	Range:1536-65535
VLAN Name	VLAN0001
Priority	Range:0-7

Showing 10 Entries Showing 0 to 0 of 0 entries Search

No.	Protocol Type	VLAN Name	Priority
0 results found.			

モード	イーサネット II	イーサネットIIカプセル化の設定
	スナップ	LLC カプセル化の設定
	エルシー	SNAPカプセル化の設定
イーサネット・タイプ	Packet protocol type, パケットプロトコルタイプ番号の設定、1536-65535	
VLAN名	VLAN ID を設定します。	
優先順位	優先順位の設定 (0~7	
オペレーション	追加	プロトコルブランを追加する
	削除	プロトコルブランを削除する

4.5. 音声VLAN

4.5.1. VLANコンフィグ

音声 vlan はモジュールを形成し、ユーザーは音声 vlan を可能にするために vlan を選ぶことができます

Voice VLAN Configure

Voice VLAN	None
------------	------

音声VLAN	vlanを選択して音声vlanを有効にする
--------	-----------------------

ボイス・ウィ・コンフィギュア・モジュールで、ユーザーはボイス・ウィを設定できる。

Voice VLAN Configure

Voice VLAN:

Voice OUI Configure

MAC address	MAC Mask	Priority	Name
<input type="text" value="00-00-00-00-00-00"/>	<input type="text" value="FF-FF-FF-FF-FF-FF"/>	<input type="text" value="Range:0-7"/>	<input type="text" value="Up to 15 characters"/>

Showing 10 Entries Showing 0 to 0 of 0 entries Search

No.	Name	MAC address	MAC Mask	Priority
0 results found.				

MACアドレス	その音声設備のMACアドレスを表示でXX-XX-XX-XX-XX-XX形式。
MACマスク	MACアドレスのマスクコードの下8桁：0xff、0xfe、0xfc、0xf8、0xf0、0xe0、0xc0、0x80、0x0
優先順位	音声トラフィックの優先度。
名称	voice-nameは音声機器の名前である。機器管理を容易にする

4.5.2. ポート設定

音声vlanの港はモジュールを形成し、ユーザーは音声vlanを可能にするために港を選ぶことができます

Port Config

Ports:

Status:

Port	Status
Ethernet1/0/1(A)	Enabled
Ethernet1/0/2(T)	Enabled
Ethernet1/0/3(T)	Enabled
Ethernet1/0/4(A)	Enabled
Ethernet1/0/5(A)	Enabled
Ethernet1/0/6(A)	Enabled
Ethernet1/0/7(A)	Enabled
Ethernet1/0/8(A)	Enabled

ポート	ポート名	
ステータス	有効にする	音声vlanを有効にする
	無効	音声VLANを無効にする

4.6. MAC VLAN

4.6.1. VLANコンフィグ

mac vlan configureモジュールで、ユーザーはvlanを選択してmac vlanを追加できる。

VLAN Config

MAC VLAN: VLAN0001

Add

Showing 10 Entries | Showing 0 to 0 of 0 entries | Search

No.	MAC VLAN	VLAN Name
0 results found.		

Delete

First Previous Next Last

MAC VLAN	vlanを選択してmac vlanを追加する
----------	------------------------

4.6.2. VLANメンバー

ユーザはmac vlanを設定できる

MAC VLAN Configure

MAC address: 00-00-00-00-00-00

MAC Mask: FF-FF-FF-FF-FF-FF

VLAN ID: VLAN0255

Priority: Range:0-7

Add

Showing 10 Entries | Showing 0 to 0 of 0 entries | Search

No.	MAC address	MAC Mask	VLAN ID	Priority
0 results found.				

Delete

First Previous Next Last

MACアドレス	ザ MAC アドレス どの は 表示 で そ フォ の XX-XX-XX-XX-XX-XX の ーム
MACマスク	の形で示されるMACアドレス・マスクである。 XX-XX-XX-XX-XX-XX
VLAN ID	Vlan-idはVLANのIDで、有効範囲は1~4094です。
優先順位	Priority-idは優先度のレベルであり、以下のように 使用される。 VLANタグの有効範囲は0~7。

4.6.3. ポート設定

mac vlan ポートコンフィグモジュールで、ユーザーはポートを選択し、mac vlan を有効にすることができます。

Port Config

Ports	--Please select --
Status	Enabled

Port	Status
Ethernet1/0/1(A)	Enabled
Ethernet1/0/2(T)	Enabled
Ethernet1/0/3(T)	Enabled
Ethernet1/0/4(A)	Enabled
Ethernet1/0/5(A)	Enabled
Ethernet1/0/6(A)	Enabled
Ethernet1/0/7(A)	Enabled
Ethernet1/0/8(A)	Enabled

ポート	ポート名	
ステータス	有効にする	mac vlanを有効にする
	無効	mac vlanを無効にする

5. DHCPコンフィグ

5.1. DHCPサーバー

5.1.1. グローバル設定

DHCP ステータスのコンフィギュレーションとクエリ、ユーザーはこのモジュールで DHCP サーバーのステータスをコンフィギュレーション

Global Config

DHCP Server	<input type="checkbox"/> Off
-------------	------------------------------

Global Config

DHCP Server	<input checked="" type="checkbox"/> On
-------------	----------------------------------------

し、DHCP サーバーのステータスをチェックします。

DHCPサーバー	オフ	DHCPサーバーを閉じる
	オン	DHCPサーバーを開く

5.1.2. アドレスプールの作成

DHCPサーバーのアドレスプール名の設定、ユーザー設定によるアドレスプール名の追加と削除。

Create Address Pool

Create Address Pool

Address Pool Name (1-32 character)

[Add](#)

DHCP Server Address Pool Table

Showing 10 ▾ Entries Showing 0 to 0 of 0 entries Search

	Address Pool Name
0 results found.	

[Delete](#) [First](#) [Previous](#) [Next](#) [Last](#)

DHCPアドレスプール名	作成されたアドレスプールの名前	
オペレーションタイプ	プールを追加	DHCPサーバーのアドレスプールを追加する
	削除	DHCPサーバーのアドレスプールを削除する

DHCP Server Address Pool Table

Showing 10 ▾ Entries Showing 1 to 1 of 1 entries Search

	Address Pool Name
1	

[Delete](#) [First](#) [Previous](#) [1](#) [Next](#) [Last](#)

現在のDHCPサーバーのアドレスプールを表示する

5.1.3. ダイナミック・プール

スイッチDHCPアドレスプールコンフィグレーションでは、ユーザーはDHCPアドレスプールパラメーターを設定します。

Dynamic Pool

Address Pool Name ▾

Domain Name

IP Address

Netmask

DHCP Client Node Type ▾

Lease Time ▾

[Apply](#)

Dynamic Pool Config Table

Showing 10 ▾ Entries Showing 0 to 0 of 0 entries Search

	Address Pool Name	Domain Name	IP Address/Netmask	DHCP Client Node Type	Lease Time
0 results found.					

[Delete](#) [First](#) [Previous](#) [Next](#) [Last](#)

DHCPプール 名称	作成されたアドレスプールの名前	
DHCPプール・ ドメイン名	現在選択されているアドレスプールのドメイン名。設定後、そのドメイン名をスイッチに適用するには、後ろのボックスにチェックを入れる必要があります。アプリケーションを使用する。	
住所範 囲	IPアドレス	アドレスプールのネットワーク番号
	ネットワー ク マスク	アドレスプールのネットマスク
DHCPクライア ントのノード タイプ	bノード	ブロードキャスト・ノード
	ピーノード	ポイント・ツー・ポイント・ノードの場合
	mノード	中古用ハイブリッドノードに使用されます。ポイントツーポイント通信通信後放送
	hノード	ハイブリッドノードその後ブロードキャスト後ピアツーピア通信
	指定する	16進数のノードタイプ (0~255)
アドレス ・リー ス・タ イムアウ ト	無限	アドレスのリース期間は無制限であり、以下の日数/時間/分数は必要ありません。埋まった
	特定	住所の賃貸には期限があります。以下に記入した賃貸期間に従って借りることができます。より大きい
オペレーショ ン	追加	チェックボックスのある上記4つのパラメータをスイッチに追加し、チェックボックスのないパラメータをスイッチに追加する。 チェックボックスは操作されない
	削除	チェックボックスのある4つのパラメータはデフォルト設定に戻し、チェックボックスのないパラメータはデフォルト設定に戻さない。 運営

Dynamic Pool Config Table

Showing 10 ▾ Entries		Showing 1 to 1 of 1 entries		Search	
<input type="checkbox"/>	Address Pool Name	Domain Name	IP Address/Netmask	DHCP Client Node Type	Lease Time
<input type="checkbox"/>	1	-	1.1.1.0/255.255.255.0	0	1D 0H:0M

Delete

First Previous 1 Next Last

現在設定されているアドレスプールの情報表示

5.1.4. 手動プール

静的アドレスプールの設定を切り替え、クライアントパラメータを手動でバインドする。

Manual Pool

Address Pool Name	2
IP Address	xxx.xxx.xxx.xxx
Netmask	xxx.xxx.xxx.xxx
Binding Type	Hardware Address
ARP Hardware Type	1(ethernet)
MAC Address	xx-xx-xx-xx-xx-xx

[Apply](#)

Static Pool Config Table

Showing 10 Entries Showing 0 to 0 of 0 entries Search

<input type="checkbox"/>	Address Pool Name	MAC Address	IP Address/Netmask	Binding Type	ARP Hardware Type
0 results found.					

[Delete](#) [First](#) [Previous](#) [Next](#) [Last](#)

アドレス・プール 名称	作成されたアドレスプールの名前
IPアドレス	DHCPサーバーがクライアントに割り当てるIPアドレス
ネットマスク	DHCPサーバーがクライアントに割り当てるサブネットマスク。 IP
製本タイプ	ハードウェアアドレス クライアントの識別子：クライアントの識別子
ARPハードウェア タイプ	このタイプは、そのクライアントは、 rfcethernet Tiee802. RFC ID：RFCプロトコル番号。有効範囲は1-255。
MACアドレス	MAC アドレス の例だ： 44-11-22-33-44-55 (MAC アドレス)
オペレーション	応募する 削除

5.1.5. デフォルトゲートウェイ

スイッチ DHCP クライアント・デフォルト・ゲートウェイ・コンフィグレーションでは、DHCP アドレス・プールのゲートウェイ・パラメータを設定します。

Default Gateway

Address Pool Name	1
Gateway0	<input type="text"/>
Gateway1	<input type="text"/>
Gateway2	<input type="text"/>
Gateway3	<input type="text"/>
Gateway4	<input type="text"/>
Gateway5	<input type="text"/>
Gateway6	<input type="text"/>
Gateway7	<input type="text"/>
Operation	Add

DHCPプール 名称	作成されたアドレスプールの名前	
ゲートウェイ0- 7	ゲートウェイIPアドレス（ドット付き10進数）。ゲートウェイ0が最も優先度が高い。数字が小さいほど優先度が高い。ゲートウェイは0以上設定可能だが、設定は0から始まり、途中で空きができないようにしなければならない。ゲートウェイの設定など、以下のパラメータは無視する。 ゲートウェイ0-1とゲートウェイ7は、ゲートウェイ0-1のみが有効になる	
オペレーショ ン	追加	上記で設定したゲートウェイを効果的に現在選択されているDHCPアドレスプール
	削除	すべてのゲートウェイをリストへ削除し、そのデフォルト状態にする

5.1.6. DNSサーバー

スイッチDHCPクライアントDNSサーバ・コンフィグレーションでは、DHCPアドレス・プールのDNSサーバ・パラメータを設定します。

DNS Server

Address Pool Name	1
DNS Server0	<input type="text"/>
DNS Server1	<input type="text"/>
DNS Server2	<input type="text"/>
DNS Server3	<input type="text"/>
DNS Server4	<input type="text"/>
DNS Server5	<input type="text"/>
DNS Server6	<input type="text"/>
DNS Server7	<input type="text"/>
Operation	Add

DHCPプール 名称	作成されたアドレスプールの名前	
DNSサーバ -0-7	ドット付き10進数形式のIPアドレスでは、DNSサーバ-0が最も優先度が高い。数字が小さいほど優先度は高くなる。DNSサーバは0以上設定できるが、0から設定し、途中で空きがないようにしなければならない。DNSサーバ-0-1とDNSサーバ-7を設定する場合、DNSサーバ-0-1だけが優先される。 効果	
オペレーション	追加	上記で設定したDNSサーバを現在選択されているDHCPアドレスプール
	削除	すべてのDNSサーバを消去し、以下の状態に戻す。 デフォルト状態

5.1.7. 除外アドレス

除く そのダイナミック アロケーション アドレス
の構成になります、 ユーザーは 動的割

Excluded Address

Starting address	<input type="text"/>
Ending address	<input type="text"/>
<input type="button" value="Apply"/>	

Exclude Address Table

Showing 10 Entries	Showing 0 to 0 of 0 entries	Search <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	Starting address	Ending address
	0 results found.	
<input type="button" value="Delete"/>		<input type="button" value="First"/> <input type="button" value="Previous"/> <input type="button" value="Next"/> <input type="button" value="Last"/>

り当てに使用されないアドレスを設定する。

スタート 住所	動的割り当てに使用されない開始アドレス	
エンディング 住所	動的割り当てに使用されないエンドアドレス	
操作タイプ	応募する	使用されていないアドレス範囲を追加しスイッチに動的に割り当てられる
	削除	使用していないアドレス範囲を削除するスイッチから動的に割り当てられる

Exclude Address Table

Showing 10 Entries	Showing 1 to 1 of 1 entries	Search <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	Starting address	Ending address
<input type="checkbox"/>	1.1.1.10	1.1.1.20
<input type="button" value="Delete"/>		<input type="button" value="First"/> <input type="button" value="Previous"/> <input type="button" value="1"/> <input type="button" value="Next"/> <input type="button" value="Last"/>

現在ダイナミックアロケーションに使用されていないアドレス範囲

を表示する

5.1.8. パケット統計

DHCPサーバーのデータパケット統計では、DHCPデータパケットを

Packet Statistics

Address Pools	Database Agents	Automatic Bindings	Manual Bindings	Conflict Bindings	Expired Bindings	Malformed Message
1	0	0	0	0	0	0

Message Received

BOOT REQUEST	DHCP Discover	DHCP Request	DHCP Decline	DHCP Release	DHCP Inform
0	0	0	0	0	0

Message Send

BOOT Reply	DHCP Offer	DHCP ACK	DHCP NAK	DHCP Relay	DHCP Forward
0	0	0	0	0	0

Clear Statistics

統計情報のクリア」をクリックすると、リアルタイムで確認で

きます。

DHCPサーバーのIPとMACのバインディング・ステータスを表示することができます。

エントリと、バインドされたIPとMACの関係。

Client List

IP Address	Hardware Address	Lease Expiration	Type
IPアドレス	クライアントのIPアドレス		
ハードウェアアドレス	クライアントのハードウェアアドレスまたはMACアドレス		
リース満了	クライアントIPの有効期限		
タイプ	マニュアル	手製本	
	ダイナミック	ダイナミック・アロケーション	

5.2. DHCPスヌーピング

5.2.1. グローバル設定

DHCPスヌーピングモジュールの有効化と無効化により、ユーザーはDHCPスヌーピングのステータスを表示し、操作することができます。

Global Config

DHCP Snooping Status	<input type="radio"/> オン
----------------------	--------------------------

DHCPスヌーピングステータス	オフ	DHCPスヌーピングを無効にする
	オン	DHCPスヌーピングを有効にする